

農業團體法中改正法律案外一件委員會會議錄（速記）第五回

六三

農業ニ對シ政府ノ差別的云々、或ハ又非農業部門ノ利害ニ支配サレズ、日本農民ノ經濟的文化的向上ヲ目的トスル農業協同組合運動ノ育成計畫ヲモテ、斯ウ云フ命令ガ來テ居ル、實ハ日本ノ農業方面カラスルト、ドウモ不名譽ナ命令ダトシカ私ハ受取レナイノデアリマスガ、併シソレヲ甘受シナケレバナラヌ程、日本ノ農村狀態ガ之ニ一致スルヤウニナツテ居ルノデアリマス、モウサウ云フヤウナ遠慮スベキ時期デモナイ、斯ウ云フ工合ニ思ハレルノデアリマシテ、ドウシテモ是ハ協同組合ト云フ名前ニ改ムベキダ、此ノ際僅カナ各法規ニ互ツテノ改正ノ手數ヲ忌ムガ如キ不精ヲナスベキデハ斷ジテナイ、斯ウ云フ工合ニ考ヘルノデアリマスガ、是ガドウ云フ譯デ改正サレナカッタカ、其ノ理由ヲ承ツテ見タイト思ヒマス

○松村國務大臣 之ヲ改正致シマス際ニ、御話ノヤウナコトモ考ヘテ見タノデゴザイマス、併シナガラ今度出シマシタ案ハ、取急ギ此ノ會ノ官僚化ノ官主化シテ居ル中シマスガ、其ノ點ヲ先ツ第一ニ除クコトガ必要デアルト思ヒマシテ、今度ノ改正案ニハ御承知ノ通り大體其ノ程度ノコトニ止メテ置イタノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ名稱ノ問題モ、實質的ニ協同組合のニナレバ、名前ハ、此ノ間一度變ヘテ又今直ガ名前ダケヲ變ヘルト云フコトモ如何カト存ジマシテ、ソレデ從來使ツテ居タ名稱ヲ其ノ儘ニシテ置イタ譯デアリマス、此ノヤウニ致シマシテ、是ガ民主化シテ參リ、サウシテ全ク民間ノ意見ニ依ツテ、名前モ一ツ實際通りサウ云フ名前ニ變ヘヤウデハナイカ、又斯ウ云フ點モ此ノヤウニシテ一ツヤ

ツテ行カウデハナイカト云フ民間ノ聲ニ從ツテ、更ニ十分改メテモ遅クハナイデハナイカ、今差當ツテノ臨時議會ノ問題トシテハ、其ノ中ノ最も官主化シテ居リマスモノヲ民主化スルト云フ東縛ヲ解クト云フ程度ニ止メテ置イテ、後ハ其ノ東縛ガ解カレタ時ノ民間ノ研究、考ヘ方ヲ斟酌致シマシテ、サウシテ其ノヤウナ風ニ變ヘテ行ツテモ宜イノデハナイカ、獨リ名稱ダケデナク、内容等ニ於テモ、改ムベキモノハ其ノ時ニ改メテ宜イト考ヘマシテ、今回ハ臨時議會マデニ日モアリマセズ、其ノ内容ヲ改メタルスレバ、更ニ檢討ヲ要スル點ガ多クゴザイマスノデ、兎ニ角今申シタヤウナ差當リノ民主化ニ一致スル東縛ヲ解ク、斯ウ云フコトニ一致シタ譯デアリマシテ、隨ヒ名前ハ別トシテ、實際ハ協同組合ノ精神ヲ運シテ行ケバ、此ノ案デ何等難ル所ハナカラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○北(勝)委員 急ヲ要シタ爲ニ時間的餘裕ガナカッタ、後デユツクリト云フ御話デアリマスガ、ソレモ御尤モノヤウニ承ルコトガ出來ルノデアリマスケレドモ、私ハ戰後ニ於ケル日本經濟ノ多難ノコトヲ考ヘテ、色々重稅ガ課セラレタリ、賠償金ヲ負擔シタ後ノ日本ノ經濟力ト云フモノハ非常ニ大幅ニ引下ケラレル、ドウ考ヘテ見テモ、今後ノ行キ方ト云フモノハ

シテモ所謂經濟民主化即チ協同組合化シテ行カケレバナラヌト云フ、此ノ新シイ環境ニ對スル國民ニ一ツノ方向ヲ與ヘルト云フ爲ニモ、是ハ速カニ協同組合ト云フ名前ヲ浮ビ出サセル方ガ宜イノデハナイカ、是ハ打ツベキ政治ノ大事ナ手デハナイカト云フ工合ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ハ一ツ當局ノ方ニ於テ將來直ス御意見ガアルト云フコトデアリマスカラ、速カニ直シテ戴キヤウニト云フ希望ダケニ止メテ置キマシテ、次ノ問題ニ移リタイト思ヒマス

○(青)委員長代理退席、委員長著席 協同組合式デ行クヨリ外仕方ガナイ、殊ニ勞働者方面ノ思想傾向等カラ見テモ、今マデノヤウナ企業ガ出來ルモノデハナイ、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、日本經濟ガドウ

行カナケレバ、恐ラク農業會ガ民主化スルト言ツテモ、世間ハ受入レヌノデハナカラウカ、斯ウ云フ工合ニ思ハレルノデアリマス、唯併シ思フニ、農業會ガ會費ヲ徵收スル上ニ於テ、不在地主ノ取扱ノ上カラ強制加入制ヲ殘シタモノデハナイカ、斯ウ云フ工合ニ思ハレルノデアリマスケレドモ、今度ノ農地法ノ改正ニ依ツテ不在地主ト云フモノノ存在ハナクナル、蓋シ消スト云フヤウナコトニナルノダカラ、其ノ點少シモ心配ハナイト思フノデアリマスカラ、是ハ自由加入ニシテ、本當ニ農業會ガ民主化サレタモノニシナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、大臣ノ御意見ノ承リタイ

○松村國務大臣 前ノ協同組合ノ御話ニ付キマシテハ、先刻申上ケタ通りデアリマスガ、大體明治三十七年ニ産業組合法ガ出來マシテ以來ノ發達ノ經過カラ見マシテモ、政府ガ指導スルト云フヨリモ、民間ノ力ニ依ツテ産業組合ヲアソコマデ持ツテ來タ、産業組合ト云フモノノ發達ニハ、政府ノ力ト云フモノヨリモ、本當ニ民間ノ力ニ負フ所ガ非常ニ多イノデアリマス、隨ヒマシテ今後ノ發展モヤハリ民間ノ力ヲ進シテ行ク、斯ウ云フコトデ總テガ解決スルノチヤナイカ、此ノヤウニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○北(勝)委員 政府ノ提出サレタ資料ニ依リマス、マダ農業會ニ改組サレナイ組合數ガ、全國二十四アルト云フコトデアリマス、其ノ數カ極メテ僅少デアルトハ私ハ喜ブベキコトダト思フ等デ通信ガ出來ナイモノモアルト云フコトデアリマスガ、部落ノ對立ニ依ルト云フ原因ノモノガ極メテ少イト思フノデアリマス、所ガ北海道ノ私ノ直グ附近ニ於テ、是ハ四箇村ノ農村ニ跨ツテ七ツノ産業組合ガ改組サレテ居リナインデアリマス、其ノ原因ハ、北海道ハ開拓途上ニアリマスガ爲ニ、自然ノ經濟區域ト行政區域トガ一致シナイ所ガアル爲ナノデアリマス、町村ノ長サハサウ云フノデアリマセヌガ、町村ノ長サガ約六里アリマシテ、省縣ノ停車場ハ大抵二里每位ニ一驛ヅツアル、所カ其ノ村邊リデハ一村ニ三ツモ四ツモ驛ガアル、戶數ナドモ一萬以上、人口ニシテ六萬人トカ居ル大キナ町村デアリマス、所ガ驛ヲ中心ニ大抵物資ノ集散ガ出來、其處ニ市街地ガ出來テ居ルノデアリマシテ、町村ノ區域ト別ニ今マデ産業組合ガ出來テ、甚ダシイノニナルト村境ニ驛ガアル、サウ云フヤウナ所ツハ二箇村ニ跨ツテ組合ガ出來テ居ルノデアリマス、其ノ組合員數ハ一千戸内外ト云フ程度手頃な組合員數デアリマシテ、是ハ五十年ニ近イ永イ間ニ色々設備ガ出來、又精神的團結モ中々良クナツテ居ルノデアリマス、ソ

ツテ、何モソレガ民主化ニ悖ルト云フ程ノコトモナカラウ、此ノヤウニ考ヘマシテ、其ノ點ヲ殘シタ譯デアリマラス

コヘ前同ノ農業團體法が生レシタ爲
ニ、一町村ニ一農業會ヲ作ル、斯ウ云
フコトカラ村ノ中央ノ組合ハ、自分ノ
所ニ全部設備ガ集中サレテ來ルカ
非常ニ都合ガ好イノデ、農會等ノ分離
ニ賛成シナイ、斯ウ云フコトガアル、
サウ云フ村外レデ而モ一箇村ニ跨リテ
居ル所デハ設備ノ利用ガ出來ナクナ
ル、ソレカラ色々設備モ無駄ニナル、
農業會ハ一寸行カウトシテモ、驛ノ三
ツモ乗越シテ行カナケレバナラヌト云
フヤウナ工合デ、不便ト苦痛ニ堪ヘラ
レナイ、サウ云フヤウナ關係カラ、生
木ヲ割クヤウニ産業組合ヲ割カレルコ
トニ對シテハ賛成シナイ、特ニ鞏固
ナ基礎ヲ持ツタ産業組合程サウ云フコ
トニハ賛成シナイ、斯ウ云フヤウナコ
トデ二箇年以上ニモナリマスガ、農會
ノ分離ト云フコト、産業組合ノ分割
ト云フニツハ、兩方トモ賛成シナイ、
線デ申上ゲマス何處マデモ並行シテ
一致スル所ガナイ、斯ウ云フヤウナコ
トニナツテ、折角地方廳デソレ等ノ命
令ヲシタケレドモ、誰モ一向ニ取合ハ
ナイト云フコトニナツテ居ルノデアリ
マス、官廳ノ威信ガ墜チテ居ル所ヘ、
是ハ更ニ一層拍車ヲ掛ケテ居ル、斯ウ
云フヤウナ次第デ、自分ノ利益ノ爲ニ
ハ他人ノ苦痛モ不便モ生産ノ減退モ何
モ考ヘナイ、サウシテ農會ノ分離ニ賛
成シナイト云フヤウナコトハ、現在ノ
民主主義ノ傾向トハ、非常ニ違ツタ所
謂腹運ヒノ自由主義ダト云フ風ニ思ハ
レルノデアリマス、ソコデ一ツ此ノ場
合一町村一農業會ニスルト云フ地方廳
ノ指令ヲ取消サレタ方ガ宜イ、況ヤ先
程農林大臣ノ言ハレル所デハ、將來協
同組合ノ性質ノモノニ直スノダ、斯ウ
云フヤウナ工合ニ言ハレテ居ル以上

ハ、今急ニサウ云フヤウナコトヲヤル
コトハ無駄ナコトデアルト思ハレルノ
デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ、
サウ云フ無理ナコトヲシテ、今強ヒテ
農業會ヲ作リ上ゲナケレバナラヌカド
ウカ、サウ云フコトニ對シテハ、民主
主義ノ今日ノ思ヒ止マラスノガ宜イ
ノデハナイカ、而シテソレニ依ツテ
ハ生産ニモ惡影響ヲ來スコトニナル
譯デアリマスガ、其ノ點ニ對スル御方
針ヲ承リタイ
○補見政府委員 便宜私カラ御答ヘ致
シマス、現在市町村農業會ノ區域ニ付
キマシテハ、團體法ノ十二條デ原則ハ
市町村ノ區域ニ依ル、併シ特別ノ事由
ガアリマス場合ニハ、市町村農業會ノ
地區ハ市町村ノ區域ニ依ラナイコトガ
出來ル、斯ウ云フ風ニ法律上規定致シ
テ居ルノデアリマス、大體ノ原則ト致
シマシテハ、今申上ゲマス通りデアリ
マスガ、是ハ農業會ノ事業ガ御承知ノ
ヤウニ市町村ノ仕事ト極メテ密接ナル
關係ガゴザイマスノデ、出來得ル限リ
農業會ノ區域ハ市町村ノ區域ト一致サ
セルト云フコトニナツテ居ルノデアリ
マス、色々御述ベニナリマシタヤウ
ニ、地方ノ特別ノ事由ガゴザイマスノ
デ、特別ニ十二條ノ第二項ニハ除外例
ヲ設ケテ居ルノデアリマス、而シテ市
町村ノ農業會ノ設立ノ指導ニ付キマシ
テハ、大體地方長官ニ其ノ仕事ヲ御任
セシテ居ルノデアリマス、ト申シマス
ノハ、斯ウ云フヤウナ地域ノ問題ニナ
ツテ參リマス、現實ノ産業的ノ觀點
カラ見タ地域ト云フモノニ付キマシテ
ハ、到底中央デハ詳細ノ點マデ分リマ
セヌノデ、サウ云フ風ニ取扱フ致シテ
居ルノデアリマス、ソコデ御話ニナリ
マシタヤウニ、團體法ガ施行サレチカ

ラ約二年モ經ツノデアリマスガ、而モ
尙ホサウ云フヤウナ事情ノアリマス所
ハ、ソレ相當ノ深イ理由ガアリ、又根
據ノアルコトデアラウト思フノデアリ
マス、隨テ其ノ指導ニ付キマシテハ、
地方長官ニ御任セ致シテ居ルノデアリ
マス、中央ト致シマシテモ、御趣旨ノ
點ハ十分拜聴致シマシタノデ、能ク地
方廳ニモ其ノ旨ヲ指示スルヤウナ風ニ
取扱フテ行キタイト考ヘテ居リマス
○北(勝)委員 地方廳ノ意見ヲト云フ
コトデアリマスガ、實ハ北海道廳ハ首
腦部ガ非常ニ迭ルノデアリマシテ、去
年ト今年デハ首腦部ガ全部迭ツテシマ
ツテ居ル、大抵一年カ一年半位デ皆迭
ツテシマフノデ、寧ろ地方廳ノ方ガ事
情ヲ御存ジナイ、來タ序ニソシナ難カ
シイ問題ナラ一ツ原則通りヤツテシマ
ヘト言ツテ命令ヲ出サレルノデ、非常
ニ迷惑スルノデアリマス、而モ、モ
ウ地方廳デドウニモノナラヌト手ヲ焼イ
テシマツタ問題デカラ、是ハ本省デ御
命令ヲナサルヨリ仕様ガナイ、斯ウ思
フノデアリマス、サウシテ先刻申上ゲ
マシタヤウニ、實ハ此ノ農業會ガ小サ
クナルノヲ好マナイ、分離ニ對シテ賛
成シナイト云フコトニ對シマシテハ
方法ガナイ、産業組合側ガ自分ノ死活
ニ關スル重大問題デカラ合併シナイト
言ツテ頑強レバ、是モ方法ガナイ、ソコ
デ何カ強權ヲ發動スルコトガ出來ルカ
ドウカ、而モ此ノ場合ニ於テハ、古イ
農會側ガ非常ニ無理ナンド、人ノ苦痛
ハ何時マデモ我慢シテ居ルト云フヤウ
ナコトハ、今日何時マデモヤラスベキ
モノデナイトハ思レル、一方ハサウ云フ
工合ニハツキリ無理ダト云フコトガ分
ツテ居ツテモ、之ヲ抑ヘル法律的ノ方
法ガナイトスレバ仕様ガナイト云フコ

トニナル、サウスルト何カ一ツノ法制
ヲ效ニ立テテ實ハナケレバ、ソレヲ抑
ヘルコトガ出來ヌト思フ、何時マデ行
ツテモ此ノ通りデアリマスカラ、其ノ
點ニ對シテ何カ方法ガアリマスカドウ
カ、伺ツテ置キタイ
○補見政府委員 手續上ノ問題デ、尙
ホ現行法上檢討ヲ要スル點ガアラウト
思ヒマス、私ハ現行法ノ解釋等デ、或
ハ出來ルノデハナイイカト考ヘテ居リマ
スカラ、尙ホ十分研究致シタイト思ヒ
マス
○北(勝)委員 最後ニ水産ノ問題デ一
ツ御伺ヒシテ置キタイノデアリマス
ガ、私ハ水産ハ方面違ヒデアアルノデス
ガ、北海道デ隨分釐高イコトハ、釐
漁業ノ場合ニ、米ノ特配ガナケレバ釐
漁業ト云フモノハ九割レデス、御承知ノ
ヤウニ、各方面カラ人ヲ集メテ來ルノ
デアリマスシ、一遍ニ激烈ナ仕事ヲス
ル關係上、普通ノ配給米デハヤツテ行
ケナイコトハ事實デアリマス、仕事ノ
激烈サハ炭坑ノ仕事以上デス、サウ云
フコトデアリマシテ、人ヲ寄セラレヌ、
米ノ特配ヲシナケレバ、釐ガ澤山前ニ
來テ居ツテモ、棄テルヨリ外仕方ガナ
イ、斯ウ云フヤウナ實情デアリマス、
昨日モ大臣ガ主要食糧トシテ米麥ノ不
足ハ魚ヤ其ノ他ノモノデ補ツテ行クト
言ハレテ居ルノデアリマスガ、釐ハホ
ンノ僅カノ間ニ一時ニヤツテ來ルノデ
アリマシテ、之ニ米ヲ餘計注込ンデモ
他ノ魚ノ方デ取返スヤウニスレバ、何
十倍モ取返セルト云フコトニナル、而
モ漁夫ノ數ガサウ多クハナイト思ヒマ
ス、此ノ釐漁業ノ爲ノ漁夫ノ數ト云フ
モノハ、サウ大シタモノデハナイ、ダ
カラ米ヲ加配シテヤリマシテモ、サウ
全國民ヲ脅カスヤウナ數ニナラヌデハ

ナイカト思ヒマス、斯ウ云フ風ニ考ヘ
ラレルノデアリマスカラ、釐漁業ト云
フ大事ナ漁業ガ續ケテ行カレルヤウ
ニ、實際ニ適切ニ合ヒマスヤウニ、一
ツ米ノ特配ヲ考ヘテヤツテ戴キタイモ
ノダ、斯ウ云フ工合ニ考ヘルノデアリ
マスガ、之ニ對スル大臣ノ御方針ヲ承
リタイ
○松村國務大臣 大體一般ノ漁民ニ普
遍ニ三増配スルト云フコトハ非常ニ困
難デアリマスガ、ソレガ最モ必要ト思
フ、例ヘバ釐漁業ノヤウナモノノ最盛
期ニ於ケル漁夫ノ食糧ニ付テハ、是ハ
重點ニ特配ヲ致ス考ヘデゴザイマ
ス、マダ十分決マツタト云フ譯デハナ
イデスケレドモ、相當ナ量ヲ増配ラシ
テ、サウシテ漁獲ヲウシント一ツヤツテ
賣フ積リニ致シテ居リマス、ドウ云フ
方法デソレヲ特配スルカト云フコト
ハ、其ノ地方ノ實情ニ即シテヤル積リ
デアリマスガ、大體考ヘ方トシテハ、
其ノ漁獲高ト「リンク」シテ實施シタイ
ト考ヘテ居リマス
○北(勝)委員 私人質問ヲ終リマス
○川崎委員 今ソレデハ次ニ宇田君
○宇田委員 私人主トシテ山林、森林
關係ノ問題ニ付テ御伺ヒシタイ、聯合
軍ノ賠償價ノ目的トシテノ森林資源
ニ對スル向フノ意圖ト云フモノハ、ド
ウ云フ所ニアルカ、御分リニナリマシ
タラ仰シヤツテ戴キタイ
○松村國務大臣 只今マデノ所デハ未
ダ何等森林ニ付テノ賠償ニ付テ申込
受ケテ居ラヌト云フコトヲ申上ゲテ置
キタイト存ジマス
○宇田委員 サウシマス、最近地方木
材會社ノ方ノ調度シ、或ハ日本社ノ縣
外配給ノ一手取扱等ノ指令ガ、農林省
カラ、地方ニ出サレテ居ルノデアリマス

ガ、ソレハ國內ノ木材生産ノ面ニ於テノミ下サレタ政府ノ方針デアリマス。カ
○松村國務大臣 左様デゴザイマス、主トシテ復興ノ資材ガ足りマセズ、マダ集マリマセズノデ、ソレヲ把握スルコトガ目的デアリマス。

○中田委員 木材ノ不足、復興材ノ不足スルコトニ付テ小林復興院總裁カラ先般新聞紙ニ所信ノ御發表ガアリマシタガ、復興院トは林省ノ關係ハドウ云フヤウノ關係ニナツテ居ルノデスカ

○松村國務大臣 小林君ガ何カ新聞紙ニ言ハレタ云フ記事ハ見マシタガ、唯單ニ統制ハ解クダラウト、斯ウ言ツタダケデアリマシタ、別ニ農林省ト復興院トドウノ斯ウノト云フ譯デアリマセズ、唯中上デテ置キマスコトハ、

私ノ方ト致シマシタハ復興ト云フコトガ何ヨリモ大切デアリ、サウシテ空ニ住居ヲ持タナイト云フコトニ對スル施設ニ付キマシテハ、私ノ方ハ總テ全力ヲ擧ゲテ其ノ復興ニ應援ヲシ、援助ヲシテ行ク方針デ居ルノデゴザイマス

○中田委員 ソレデ木材ノ生産ハ戰爭中ニ非常ニ強固ナ統制政策ヲ以テオアリマスカ、戰爭中ノ統制ノ再編成ニ伴ヒマシテ、現在ノ我が國ノ木材生産ト云フモノハ、戰爭中ノ統制サレタ機構ニ相當シテ、終戰後ニ切換ヘテ行ク

ト云フ所ニ付テ行カナケレバ、事實上生産ハ軌道ニ乗ラナイ面ガ多ク、斯ウ考ヘマス、ソレデ最近政府ノ御執リニナツテ居ル政策ハ、戰爭中ノ統制經濟政策カラ見レバ、非常ニ生産ニ對スル所ノ根柢ノ思想ハ、自由主義ノ對スル方ニ變ツテ來テ居ルノデハナイカ、斯

ウ云フ風ニ考ヘマス、此ノ點ニ付テ根本的ニドウ云フ方針デ木材生産ノ確保ヲ圖ラレトナカ、御伺ヒ致シマス

○松村國務大臣 戰時中ノ木材統制ノ方法ヲ平時ニナツテ其ノ維持續シテ行クト云フコトノ出來ナイコトハ、是ハ申サマデモナイコト思ヒマス、戰時中ト雖モ、尙且ツ完全ニ終リマセマデシタ、隨ヒマシテ、何レハ木材統制ト云フモノハ、改メラレルベキモノト考ヘテ居リマス、併シナガラソレガ自由

由奔放ニ任セテ宜イカドウカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ相當ニ過渡的ノ措置ヲ要スルコトデゴザイマシテ、民間ノ自主的ノ協定ニ依ツテ運営セラ

ルベキモノデアリ、又政府ニ於キマシテモ限リアル木材ノ配給ニ付キマシテハ、一定ノ計畫的ノ枠ヲ決メナケレハナラナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘ、其ノ枠ノ中ニ民間ノ協力、協定ニ依ツテ運営ヲシテ行ク、斯ウ云フコトデナケレバナラナイ、大體ノ方針ハ左様ニ考ヘテ居リマス

○中田委員 私ハ先程モ御尋ね致シマシタウニ、木材ハ國內生産、國內需要ヲ充スト云フデナカレバ、恐ラク聯合軍ニ對スル賠償材ノ供出ト云フコトモ起ルノデハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス、其ノ點カラ考ヘマス、計

畫生産ヲ自由生産ニ切替ヘテ行クト云フ面ニ沿ツテ、現在國內産出サレテ居リタルヤウナ統制ノ枠ノ組ミ方ヲ以テ行クト、收拾ヲ付カナケレバハ

ナイカ、斯ウ云フ風ニ心算シテ致シマス、寧ろ現在ノ我が國ノ國情、我が國ノ戰爭前ニ比ベテ莫大ニ需要ト睨ミ合セテ考ヘマス、政府ガ相當強力ナ計畫ヲ以テ統制ヲシテ行カナケレバ、生産ハ軌道ニ乗ラナイシ、却テ混亂ノ結果生

産ガ減退スルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ憂慮サレテ居リマスガ、ドウデセウカ、ソレデ最近執ツテ居リマス所ノ統制會議、或ハ日本社、地本社等ニ對スル政策ニ付テ、具體的ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、統制法ハ廢廢ヲ希望スル意見ガ非常ニ多クイデアリマス

ガ、其ノ撤廢ハ斯ル時期ハ何時デアルカ、此ノ點ニ付テ御伺ヒ致シマス

○松村國務大臣 賠償ノ豫定トシテ未ダ現ハレザル事實ヲ豫定シテ考ヘルコトハ、是ハ私共ハ採リマセズ、サウ云フ場合ハ其ノ時ニ即スベキモノデアツ

チ、必ズ木材ノ賠償ニスルカドウカ分ラナイ時、コチカラソレヲ賠償ト指定サレルモノト考ヘル必要ハ毫モナイデアリマシテ、其ノヤウナト對シテ、

今後ノ見解エヲ考ヘルト云フコトハ致サヌ方針デゴザイマス、斯ウ云フ場合デアルカ、更ニ強ニ統制ヲシロト云ハレマスレドモ、戰時中デモ十分ノ效果ガ擧ラズ、而モ色々ノ無理モ伴ヒ

マスルノニ、此ノ平時ニナリマシテ、戰時ヨリモ更ニ強ニ官治的ニ統制スル、是ハ事實上行ヒ得ナイコトデアリマシテ、ヤハリ民間ノ協力ヲ俟ツテヤ

ル方法ニ變ヘナケレバハナラヌノデ、大體此ノヤウナ方針ヲ持ツテ居リマス、然ラバ具體的ニドウ進メルカト云フコトニ付テハ、是ハ其ノ場合々々依リマシテヤウナ行キタイト思ヒマスガ、大體ノ向フ途ハ、此ノヤウニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○中田委員 私ハ具體的ニ現在ノ木材生産機構ノ改組ノ方法ニ付テ御伺ヒ致シタイト思フノデアリマスガ、地方木材會社ノ機構ト云フモノハ、必ズシモ完全ニモノトハ考ヘマセズ、其ノ縣々ノ事情ニ應ジテ改組スペシト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、地方木材會社ノ度外視シ、日本ヲ中心トシテ

際外トノ交流、各縣ノ對外交流ヲ圖ルト云フ點ハ、現在ノ地方ノ實情ニ應ジテ判斷致シマス、必ズシモ適當デナイ、寧ろ地本社ノ機構ヲ擴充シテ、

サウシテ地本社ノ聯合體ノヤウナモノヲ適當ナ時期ニ編成シテ、ソレニ依ツテ自治的ニ交流ヲ圖ル方法ヲ執ルコトガ寧ろ宜イデハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○松村國務大臣 只今申シマシタ通りニ、藩閥所ハ民間ノ協定ニ依ツテ組織ニ改メタイ、斯ウ云フ方針デゴザイマスカラ、現在ノ機構ヲ宜イカドウカト云フ御質問ニ對シ、ソレガドウカト云フコトハ、實ニ申上デ難キ點デゴザイマス、大體ノ考ヘ方ガ今申シタヤウ

ナ線ニ沿ウニ漸次改メテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、私共ノ眼中ニハ地本社ガドウノ、日本社ガドウノ、日本社ト地本社ノ關係等

ノコトニ付キマシテハ、從來色々ノコトガアルコトハ聞イテ居リマスケレドモ今申サユナ線ニ漸ウテ行クコトニハ、ソレ等ノ問題ハ空々別ノ問題ト考ヘテ居ル譯デゴザイマス

○中田委員 大臣ノ御意見ハ能ク分ルノデアリマスガ、唯現實ノ問題トシテ、地方生産界ガ非常ニ混亂、スルト云フ事實ガアリマシタ、之ニ對シテハ速カ

ニ只今申サレタ線ニ沿ツテ整備ヲシテ戦キタイト考ヘマス、サウデナイト、生産ハ非常ニ減退スル、サウシテ所要材ノ確保ハ非常ニ困難ニナル、隨テ機構ハ軌道ニ乗ラナイノデアリカト云フコトヲ心懸スルノデアリマス、ソレ

デ實際ノ地方ノ恐慌ナイ所ヲ申上デマスト、十一月二十六日ヲ中心トスル所ノ木材ノ配給機構ノ再編成ト云フモノ

ハ、寧ろ日本社ノ赤字補填ガキ役立ツノデハナイカ、却テソレガ爲メニ地方ノ生産實態ト云フモノハ、供出或ハ所要材ノ確保ガ困難ニ陥レルコトニナルノデハナイカト云フヤウニ言ツテ居リマス、サウ云フ點ハ能ク御注意シシテ戰キマシテ、サウ云フ點ニ關スル所ノ國民一般ノ不安要素ヲ一掃シテ戰キタイト思ヒマス

ソレデ話ハ又戻ルノデアリマスガ、戰爭中ニ於ケル木材ノ統制機構ニハ非常ニ苦心シマスノハ、終戰後ニ於ケル所ノ生産機構ト云フモノヲ造林乃至此ノ戰爭中ニ濫伐セラレテ居ル山ノ撫育、治水、治山或ハ利水方面ニ如何ニシテ直結セシムルカ、其ノ森林ノ撫育行政ト一貫性ノアル食糧計畫、或ハ製材機構ト云フモノヲ考ヘテ行カナケレバナラヌト考ヘルノデアリマスガ、サウ

云フ新シイ生産機構ト云フモノハ、從來ノ如キ單純ナル製材ノ組合或ハ森林組合ト云フモノノ機構ノクツ付合ヒデハ駄目デアルト考ヘルノデアリマス、デアアルカラ終戰後ニ於キマシテハ、

モット之ヲ一體化スル所ノ組織ヲ確立シナケレバナラヌト考ヘマス、サウ云フ點ニ付キマシテ農林省ノ御考ヘニナツテ居ル點ヲ確カシテ戰キタイト思ヒマス

○松村國務大臣 今度ノ二十六日ノ措置ガ日本社ノ赤字ノ救済デアルト云フ御話デゴザイマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ左様ノ考ヘデハゴザイマセズ、是ハ一ツハ地本社ノ赤字ヲ持ツテ居ルノモアリマスシ、日本社ガ今度ノ二十

六日ノ爲メニ得タ利益ニ對シマシテハ、勿論國ノ政策ノ爲メニ赤字ニ付キマシテハ、是等ノ利益ヲ以テ補填スル考

ハ、寧ろ日本社ノ赤字補填ガキ役立ツノデハナイカ、却テソレガ爲メニ地方ノ生産實態ト云フモノハ、供出或ハ所要材ノ確保ガ困難ニ陥レルコトニナルノデハナイカト云フヤウニ言ツテ居リマス、サウ云フ點ハ能ク御注意シシテ戰キマシテ、サウ云フ點ニ關スル所ノ國民一般ノ不安要素ヲ一掃シテ戰キタイト思ヒマス

ソレデ話ハ又戻ルノデアリマスガ、戰爭中ニ於ケル木材ノ統制機構ニハ非常ニ苦心シマスノハ、終戰後ニ於ケル所ノ生産機構ト云フモノヲ造林乃至此ノ戰爭中ニ濫伐セラレテ居ル山ノ撫育、治水、治山或ハ利水方面ニ如何ニシテ直結セシムルカ、其ノ森林ノ撫育行政ト一貫性ノアル食糧計畫、或ハ製材機構ト云フモノヲ考ヘテ行カナケレバナラヌト考ヘルノデアリマスガ、サウ

云フ新シイ生産機構ト云フモノハ、從來ノ如キ單純ナル製材ノ組合或ハ森林組合ト云フモノノ機構ノクツ付合ヒデハ駄目デアルト考ヘルノデアリマス、デアアルカラ終戰後ニ於キマシテハ、モット之ヲ一體化スル所ノ組織ヲ確立シナケレバナラヌト考ヘマス、サウ云フ點ニ付キマシテ農林省ノ御考ヘニナツテ居ル點ヲ確カシテ戰キタイト思ヒマス

○松村國務大臣 今度ノ二十六日ノ措置ガ日本社ノ赤字ノ救済デアルト云フ御話デゴザイマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ左様ノ考ヘデハゴザイマセズ、是ハ一ツハ地本社ノ赤字ヲ持ツテ居ルノモアリマスシ、日本社ガ今度ノ二十

六日ノ爲メニ得タ利益ニ對シマシテハ、勿論國ノ政策ノ爲メニ赤字ニ付キマシテハ、是等ノ利益ヲ以テ補填スル考

ヘデゴザイマシテ、日本社ノ赤字救済
ト云フ意味ハ斷ジテゴザイマセヌ、
私共ハ日本社ヲ特ニ保護スル必要ヲ何
等國メテ固ナクアリマス、ソレカ
ラ又今後ノ林政ノコトデゴザイマス
ガ、今後ノ濫伐セラレタル森林ノ回復
ニ付キマシテハ、私ハヤハリ森林組合
ニ依ツテ十分ニ成績ヲ擧ゲテ行キタイ
ト考ヘテ居リマス、ソレト伐採ノ方面
トハ如何ニ結付ケテヤリテ行クカト云
フコトハ、御話ノ通り非常ニ大キイ問
題デアリマシテ、是ハ斷ト又考慮ヲ致
スコトヲ致シタイト存ジマス

○川崎委員長 此ノ際委員長ヨリ一寸
大臣ニ質問セラル、方々ニ申上ゲテ置キ
マス、農林大臣ニ對スル質問ハ、大抵
今日ノ農林ニ對シテ農林省ニ於テ
アリマス、只今字面ガ御質問中デ
ゴザイマスガ、アト二人程質問ナリ
ル方ガゴザイマス、ソレデ皆サシモ其
ノ御座リデ思フテ下サルヤウニ御座
リシマス

○宇田委員 森林資源法案ヲ提出
サレテ居ルノデアリマスガ、之ニ依リ
マス、三箇圖ヲ以テシテヤウ行
クゴトハ御承知ノ通りデアリマス、ソ
レデ前面三箇圖ヲ限リテ造成設備ヲ交
付スルコトニナツテ居ルノデアリマス
ガ、現在ノ山ノ路徑費ヲ計算致シマ
ス、山林局カ御提出ニナツテ居ル
參考資料ノ森林管理度デハ、到底牧
ラナイト考ヘテ居リマス、隨テ造成法
案ニ出テ居リマス額面三箇圖ニ限ルト
云フノハ、モウ少シ増額スベキモノト
考ヘテ居リマス、此ノ法案ノ出来マシ
タ元ノ經過カラ考ヘマス、必ズシモ
直チニコ、デドウ斯ウト云フ譯デハナ
イノデゴザイマスガ、將來ハドウシテ
モ之ヲ増額スルコトガ必要デアルト考

ヘマス、其ノ點ニ付テ御意見ヲ伺ヒタ
イ

○松村國務大臣 大體左様ニ心得テ居
リマス、ソレデヤウチ足ラナイ時ハ勿
論増額致サナケレバナラスト考ヘテ居
リマス

○宇田委員 森林關係ノ大臣ニ對スル
質問ハ其ノ程度ニ致シマシテ、全然違
ツタ角度カラ又置キタイノデアリマス
ガ、地方ニ於テハ農村ノ電化ガ最モ非
常ニ叫バレテ居リマス、誰カヨリモ御
覽ガアリマシタヤウニ色々電氣設備ヲ
利用スル事項ガ多クナツタノデアリマ
ス、御承知ノヤウニ電氣設備ハ先年鉄
一サレテ居リマス、ケレドモ其ノ電氣
設備ハ必ズシモ縣單位デハナイノデア
リマシテ、九州ノ九州一區、四縣ナ
ラ四縣一區ト云フヤウニ、配電會社ガ
管理シテ居リマス、其ノ點ニ於ケマシ
テ、終戦後ノ色々地方農村ノ電氣ノ
情勢ハ、非常ニ需要ノ増加ニ伴ヒマシ
テ、配電機關組織ガ其ノ實體ニ適合シ
ナイ面ガ多ク、ソレデ我々トシテハ、
寧ろ縣單位ニ配電機關ヲ改變スルノガ
宜シクハナイカ、此ノ點大臣ノ御所見
ヲ伺ヒマス

○松村國務大臣 農村電化ヲ徹底致シ
マスノニハ、御話ノヤウニ致サナケレ
バイカナイト思ツテ居ルノデアリマ
ス、廣く配電會社ニ依リマシテハ、地
方ノ農業電化ノ爲ニ、ソレ等ノコトヲ
思ヒ付ツテヤウト苦ツテ、配電會社
ノ方カラ進シテ私ノ方ヘ言フテ來テ居
ル所モアル位デゴザイマシテ、是等ノ
氣運ヲ促進シテヤリタイ、此ノヤウニ
考ヘテ居リマス、唯現在農村ノ獲得ガ
中々困難デアリマシテ、一時急ニハ參
ラナイカモ知レマセヌケレドモ、
御話ノヤウニ行キタイト思ツテ居リマ

ス
○宇田委員 私人質問ハ是デ終リマス
○川崎委員長 ソレデハ加藤君
○加藤知事 大體大臣御意ガデア
リマスガ、極々簡單ニ御質問中上ゲ
タイト存ジマス、先づ第一ノ御尋申
上ゲタイコトハ、露絲業ノ將來ニ對ス
ル見通シ云フコトデアリマスガ、實
ハ「マツカサ」軍司令部ノ政令一員
ガ、日本ノ生絲ハ現在ノ斷アメリカ
デハ大イニ歡迎ヲ致シテ居ルケレド
モ、併シナガラ「マツカサ」其ノ人
造織造ガ大イニ發達シテ居ルカラ、長
イ將來ノ地位ハ尙來ナイト云フコトヲ
申シテ居リマス、併シナガラ露絲業ノ結
人ガ精ノ織下デナケレバナラヌト云
ク申シ、露絲業カラ考ヘマス、露絲
建築シマスモノデハナイト私共ハ左様ニ
考ヘテ居ルノデアリマスガ、併シ政府
ニ於テハ、米國ニ於ケル「ナイロ」ト
編輯下、最近ノ物價ノ騰貴ベエナツタ
カドウカ、是等ノ關係ヲ御調ベナツタ
結果、今同此ノ露絲業ノ將來ガ有望
セラレタノデアリカ、有希望セラレテ
大イニ之ヲ獎勵シテ居ルケレドモ、
ノデアリカ、ソレトモ又見送リ物質
ヤ代價物價ノコトカラ、俄カニ之ヲ獎
勵スル心持ニナラレタノデアリカ、ソ
レトモ現在ノ露絲業ノ將來ガ其ノ他ノ
會社ヲ解散スベキヤウ「マツカサ」
軍司令部カラ命ゼラレテ、新々ニ民主
主義のカ國體ヲ組織シナケレバナラナ
イト云フコトカラ、露絲業ノ此ノ露絲
業法ノ改正案ヲ出サレタノデアリカ、
其ノ邊リ我々ニ對シテ露絲業ナク御
話下サイマシテ、猶ノ眼ノ變ルガ如キ
割合露絲業ノ約變更案ニ出デナイヤウニ
致サレタイト思フノデアリマス、此ノ
意味ニ於テ露絲業ノ將來ノ見通シト云

フコトヲ、大臣カラ一寸承ツテ置キタ
イト思ヒマス

○松村國務大臣 只今ノ御質問デゴザ
イマスガ、露絲業ノ將來ガマデノ方策
ト變ツテ獎勵スルノハドウ云フ意味
カト云フ御尋ネデゴザイマスガ、ソレ
ハ勿論御尋ノ總テヲ含ム譯デゴザイ
マシテ、第一ニ食糧ヲ得ル爲ノ見返リ
物質ト云フ爲ニ、是非露絲業ノ獎勵ヲ
行カナクチャナラスコトハ、是ハ
申スマデモナイ所デゴザイマス、併シ
ナガラ獎勵ヲ致スト云フコトハ、ソレ
デハ露絲業ノ中シマス、決シテ左
様デハゴザイマセヌ、即チ將來ノ見
通シニ於ケマシテ、此ノ生絲ト云フモノ
ハ、露絲業ノ獎勵ニナリマシタ其ノ後モ、
露絲業ノ獎勵カ其ノ他ノ相當ノ露絲
業ガアル、何レ露絲業ノ獎勵カ、ヤウナ時
期ニ到達致シマスナラバ、以前ト同ジ
ク日本ノ輸出ノ大宗トナルベキモノト
考ヘマスノ、一時ノ見送リ品ト云フ
意味バカリデハナク、露絲業ノ日本ノ
輸出貨品ノ基本ノ大宗ト成ルモノトシ
テ、之ヲ獎勵致シタイト思フノデアリ
マス、露絲業ニ對シテ一時ノモノデハ
ゴザイマセヌ、本改正案ノ趣旨モ其ノ
根本ノ考ヘナラ立ツテ居ルコトデア
ルト御承知願ヒマス

○加藤知事 次ニ露絲業ニ對シタイ
ノハ、露絲業ニ關スル諸法律ノ改廢デ
アリマス、露絲業ハ農工商ノ區別ニ互
ニ實際ノ技術行政ヲ主トシ、適切
ナル方策ヲ立テ、其ノ利率ヲ増進セシ
メナケレバナラスノモノト考テ、今日
マデノ經過ヲ見マス、露絲業ノ管理
法ニシマシタモ、露絲業法ニ致シマシ
タモ、露絲業統制法ニシマシタモ、
露絲業統制法ニシマシタモ、其ノ悉ク
ガ露絲業者、露絲業者ヲ苦シメ、減退

ニ拍車ヲ掛ケタ有無無益ノ惡法デア
ルニ今同ハ唯此ノ露絲業法ノ改正案ヲ
出サレタニ過ギナイガ、其ノ他ノ露絲
業關係法規ハドウナサル御考ヘデア
リマスガ、總議院後ノ特別議會ニハ、斷
然ガ改廢ノ法律案ヲ出サル、御考ヘ
デアルカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト
思ヒマス

○山縣政府委員 法律ノ整理モ今同ノ
法律ニ依ツテ相當致シタノデアリマス
ガ、次ノ議會ニ露絲業法ノ改正ヲ出ス
ト云フコトデゴザイマスガ、其ノ意
ハゴザイマセヌ

○加藤知事 露絲業法ト云フコトデ
ハ「マツカサ」デアリマス、一寸御覽連ヒト
思ヒマスガ、只今露絲業法ハ露絲
業關係法規カアルノデアリマス、ソレ
ヲ改廢スル所ノ法律中、露絲業ノハ
露絲業ノ修正案モハ修正案ト云フヤ
ウナコトニナルト思フノデアリマス
ガ、ソレ等ニ付テアドウ云フヤウナ御考
ヘテ持ツテイラツシヤルカト云フコト
ヲ露絲業ニ申上ゲタノデアリマス

○山縣政府委員 此ノ法律ニ依リマシ
テ實質ノハ四ツノ法律ヲ廢スルノデ
アリマシテ、是ハ露絲業法ノ改正案
ニナツテ居リマスケレドモ、露絲業
法ト云フノハ實質ノニハ廢メテシマ
ツテ、今同ノ法律ヲ新シタ書キ直シタ
コトニナツテ居リマス、露絲業管理
法トシマシタ、露絲業統制法トシ
止致シマシタ、露絲業統制法トシ
シマシタ、附則ヲ御覽ニナリマス
イテアリマス、ソコデ露絲業法ノ
ハ露絲業法、ソレカラ露絲業法組合
規定ノゴザイマス露絲業法組合、ソ
レダケデゴザイマシテ、別ニソレハ只
改メナケレバナラヌト云フコトデハ

改メナケレバナラヌト云フコトデハ

植エテ人工交雑ヲヤリマシタ所、四五
十種レマシタ、更ニ其ノ後此道ニ巧者
ノ水準ト云フ人ニ聽イテ見ルト、三週
植替ヘテ四五種目ニ擴メバ五箇以上ナ
ルト云フ、ソレハ大變宜イ話デアルト
考ヘテ居ルト、今度中村莊二郎氏ニ聽
イテ見マス、早目ニ溫床ヲ作ツテ一
回移植スレバ十四、五ナルト云フ、更
ニ今度小平農學研究所ニ居ル二宮千
代ト云フ五十以上ノ婦人デスガ、是ハ
非常ニ農事ニ熱心ナ婦人デ、此ノ人ガ
昨年作ツタ南瓜ハ三十七箇ナツタ、皆
初メナツタモノカラ終リニナツタモノ
マデ大キナ立派ナモノダト云フ、此ノ
人ハ本當ニ夜晝構ハズ能ク働ク、所謂
努力ノ結果デスガ、栽培ノ關係ニテ
ル、品種ノ關係、栽培ノ關係、努力ノ關
係、此ノ三ツヲ能ク研究シテ増產上最
良ノ方法ヲ一般ノ農家ニ十分ヤラスベ
ク本省カラ何等カノ方法ヲ以テ徹底サ
セルヤウニシテ戴キタイ、サウスレバ
明年カラ大増產ガ出來ルト思フ、新タ
ニ百五十萬町歩ノ開墾モ宜シイ、併シ
ナガラ既耕地カラ十分ノ生産ヲ擧ゲサ
セナケレバ駄目思フ、ソコデ私ハ更
ニ大臣ノ御答ヘガ要領ヲ得ナイノデ、
最後ニ伺フコトデスガ、今ノ増產ノ研
究所ト云フモノハ、之ヲ道府縣各所ニ
播ヘサスコトガ宜シイト云フコトニ
付テデアリマス、色々政府ノ設備ハ
至レリ盡セリデスガ、唯缺ケテ居ル點
ハ増產農法ニ關スル此ノ一點ガ缺ケテ
居ルト思ヒマス、農事試験場ノ開放ト
云フ御答ヘデアリマスガ、開放ト云フ
コトヲ申上ゲタノデハナイ、農事試験
場ガ折角良イ成績ヲ擧ゲテ居ツテモ、
農家ノ多クハソレヲ利用シテ居リマス、
アレハ農事試験場ノ成績ダト言ウテ中
中之ヲ擧ニ上ゲテ實行致シマセヌ、麥

デアラウガ、米デアラウガ、甘藷デア
ラウガ、色々名人ハ澤山居ルガ、農
家ハ實際ニハアレハ名人ノヤルコトダ
ト言ツテ中々眞似ヲシヨウトハ致シマ
セヌ、農事試験場ト農家ノ間ニ距リガ
アル、名人、篤農家ト農家ノ間ニ距リ
ガアル、其ノ結果ハ多クハ農家ハ實際
依然タル狀態デ増產ガ出來ナイ、寧
ロ減產ニナツテ來テ居ルノデアリマ
ス、ソレヲ如何ニシテ農家ト農事試
驗場ヲ結付ケ、如何ニシテ農家ト篤農
家ト名人トヲ結付ケテ行クカ、是ハ其
ノ中間機關トシテ應用技術ノ研究機關
ガ必要デアリ、別ノ意味ヲ以テ申上ゲ
レバ、増產農法ノ研究所ト云フモノガ
必要デアル、サウ云フモノヲ拵ヘテ、
農事試驗場ノ一番良イ試驗ヤ、凡ニ
名人ノ方法ヲ集メ、サウシテ農家ガヤ
ルヤウニ實際のニスウ云フ技術ノ上カ
ラ色々ト研究シテ、是ナラ氣候風土其
ノ他カラモ考ヘテ確カニ確ルト云フ
コトヲ現實ニ現ハシテ、其ノ研究生ガ
之ヲ研究シ凡ニ良法ヲ技術のニ體得
シ之ヲ農村ニ持チ歸ツテ指導ノ地位ニ
立ツ、今マデノ技術者ト云フノハ馬車
馬のノ技術者デアツテ、一通リノ學問
ト見聞ハアツテモ、廣イ農法ニ互ツテ
實際ノ體驗ガナイカラ、指導シテモ人
ガ隨イテ來ナイ、隨テ發展依然タル指
導ヲシテ居ルカラ、兎増產ガ出來ナ
イコトニナルノデアリマス、ダカラ私
ハ斯ウ云フ風ニ尊イ體驗ヲ積ンダ研究
生ガ澤山新鮮タニ世ノ中ニ出デテ指導
勵ノ任ニ當レバ、必ズ此ノ増產ガ出來
ルト考ヘルノデアリマシテ、更ニ其ノ
上現在ノ六百萬町歩ノ耕地ニ百五十萬
町歩ノ開墾耕地ガ加ハレバ、日本ノ人
口ガ一億ニナラウガ二億ニナラウガ、
優ニ自給自足ノ道ガ立ツト思フノデア
リマス、尙ホ之ニ付キマシテ大臣ノ御
意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○松村國務大臣 技術ノ發達ニ付キマ
シテハ、私ノ方モ大體御同様ノ考ヘヲ
持チ、方々ニ持ツテ居ルノデゴザイマ
シテ、試驗場ヲ十分ニ活用致シ、技術
ノ發達ヲ致スコトヲ云フコトニ全力ヲ擧
テヤリタイト思ツテ居リマス、農地法
ナドノ目指メ所モ、農村ニ基礎ヲ作ツ
テ之ニ技術ノ發達ヲシテ増產スルニア
ラザレバ、農家ノ維持ハ出來ザルと思
ヒマスノデ、此ノ點ニ付テハ御話メヤ
ウナ方向ニ十分努力スル積リデアリマ
ス
○加藤(知)委員 大臣ノ御意思ノアル
所モ分ラヌコトハゴザイマセヌケレド
モ、ドウモ私ノ申上ゲタコトガ能ク御
分リニナツテ居ラヌヤウニ思ヒマス、
今日ハ大臣ハ取急ギデアリマスカラ近
イ中ニ御目ニ掛ツテ十分申上ゲタイト
思ヒマス
○川崎委員長 山田君
○山田(公)委員 一々問答シテ居ルト
時、ガアリマセヌカラ、二、三點一度
ニ連續シテ申上ゲマス、滿ノ増產ニ付
テデアリマスガ、各地ニ於テ會合等ヲ
催シマシテモ、到ル處デ食糧問題ヲ來
スノデアリマス、是ハ獨リ滿タケナ
ク、總テノ生産ニ對シテ食糧ガ付キ繼
フノハ當然デアリマスガ、其ノ中ニ米
ヤ麥ガナクテ穀ガアレヌト云フコトガ
アル、他ノ仕事ト連ツテ朝モ早ク、夜
モ遅クマデヤラナケレバナラヌデア
リマスカラ、食糧ヲ與ヘナケレバ生産
ガ出來ナイ、穀モヤレナイト云フノガ
多イノデアリマス、ソレカラ今一ツハ
麥ト米或ハ藁ニ付テハ、米幾ツニ對シ
テ麥幾ツ、麥幾ツニ對シテ藁幾ツト云
フ綜合供出ヲ認メテ居ル、雜穀ヤ粉食

等ニ對シテモ亦ソレヲ認メテ居ルヤウ
デアリマスカラ、供出ノ際ニ滿何貨目
出セバ米幾ツ、麥幾ツト同一ノ供出ダ
ト云フヤウナ取扱ヲシテ欲シイ、所謂
綜合供出ノ中ニ藁モ入レテ賣ヒタイ、
此ノ二ツノ要求ガアル譯デアリマス、
此ノ食糧ヲ賣ヒ穀ガ出來ルト云フ方面
ニ付テハ、穀ヲヤレバ食糧ノ輸入モ出
來、米絲モ見返リニナルト云フ譯デア
ルカラ、兎モ角穀ヲヤル、サウスレバ
食糧ガ充實シテ來ルト云フコトハ、明
カナ事實デアリマス、サウ言ヘバ食糧
サヘ賣ヘバ穀ヲヤル、穀ヲ澤山ヤレバ
食糧ガ十分出來ルト云フヤウナコトデ
扣問答ニナル譯デアリマス、デアリマ
スカラ、此ノ問題ハ政府ニ於テ考慮シ
テ見ルトカ研究シテ見ルト云フコトデ
ナク、滿ノ幾ツヲ出シタ者ニハ米、麥、
藁、其ノ他ノ雜穀ト同ジヤウニ供出シ
タモノト認メル、或ハ特配、加配米ヲ
ヤリ得ルト云フヤウナコトヲ、此ノ機
會ニ聲明シテ穀カバ、是ハ生産ノ上ニ
及ボス影響ハ非常ニ重大ダト思フノデ
アリマス、尙ホソレモサウ云フ事情モ
アラウト思フカラ考慮シヨウト云フ程
度デハ效果アリマセヌ、アリマセヌカ
ラ、藁ニ付テハ食糧ノ供出トハ斯ウ云
フヤウナ關聯ヲ持タスト云フヤウナコ
トヲバ、政府トシテハツキリ聲明シテ
戴キタイ、斯ウ云フコトガ一ツデアリ
マス

ソレカラ今一ツハ農業會ノ支部廢止
ノ問題デアリマス、農業會ノ三十八條
ノ廢止デアリマスガ、是ハ二年間農業
會ガ今日マデヤツテ參リマシタ結果
ガ、縣農業會或ハ町村農業會ノ間ニ支
部ガアリマシテ、此ノ支部ガ中間ニ居
ツテ郡内ノ町村ヲ或ハ督勵シ或ハ指導
スルト云フノデ、非常ニ密接ナ重大ナ
役割ヲ演ジテ居ルノデアリマスガ、ソ
レヲ今回廢止スルコトニナリマス、ト
折角ノ此ノ連絡ニ非常ナル影響ヲ及ボ
スノデハナイカ、例ヘバ此ノ條項ノ支
部ヲ廢止シテモ、其ノ府縣ニ依ツテ
隨意此ノ支部ト同ジヤウナモノヲ作リ
得ルノダ、作ツテモ宜シイノダ、斯ウ
云フコトノヤウデアリマスカレドモ、
ソレハ法令ニ依ツテ定メラレタル支部
ニ勤メテ居ル職員等ト、支部ガ隨意ニ
臨時ニ作ツテ居ル人ノ努力トハ、精神
上ニ及ボス影響ハ極メテ大ナルモノガ
アルノデハナイカト思フノデアリマ
ス、デアリマスカラ三十八條ノ第二項
ヲ廢止スルコトハ是ハ宜シイト思フノ
デアリマスガ、三十八條ノ全部ヲ廢止
セラレルトハ、今後ノ農業會ノ運営
ニ及ボス影響ハ極メテ重大デアルト思
ヒマスガ、此ノ點ニ對シテドウ云フ
意味ニ於テ之ヲ御廢止ニナリマスカ、
御廢止ニナツタ爲ニ農業會ノ活動ノ上
ニ及ボス影響ト云フヤウナコトヲ御
考慮ニナラナカッタカドウカト云フコ
トニ付テ、御聽キ致シタイノデアリマ
ス
ソレカラ今一ツノ問題ハ、酵素肥料
ノ問題デアリマスガ、先達アツタ
カラカ大臣ニ御聽キシタ際ニ、酵素菌
ト云フモノノ分離ニ成功シテ、非常ニ
學術のニモ能ク分ツテ來タト云フヤウ
ナ御話ガアツタト云フコトヲ御聽キ致
シタメデアリマスガ、更ニ最近ニ至ツ
テ肥料ノ缺乏ハ御承知ノ通りデアリマ
ス、又私共ノ縣等ニハ非常ニ熱心ニナ
ツテ各農家ハ昨年、一昨年ノ經驗ニ依
ツテ愈々酵素肥料ハ非常ナ效果ノアル
コトヲ認メラレタモノデアリマスカ
ラ、最近東亞聯盟ノ會員ニナリタイ
ノデナク、肥料ガ欲シイバカリニ會員

ニナツテ會費ヲ納メテ肥料ヲ作シタト云フコトガ、大分流行ツテ居リマシタ、所ガ最近東京農聯デハ肥料ガ欲シイバカリニ會員ニナリタイ、云フコトハ相成ラナイ、本當ノ聯盟ノ精神ヲ理解シテ聯盟ニ終始スルコト云フヤウナ決意ノアル者以外ニハ肥料ノ分配ハ相成ラナイト云フコトニ最近ナツタノデアリマス、ソコデ農家ハ失望シテ居リマスガ、ソレナヤウナ情勢デアリマスシ、コ、何年間ノ經驗デハ非常ニ效果ノアルコトモ明カノヤウデアリマスカラ、肥料商ノ分離培養等ニ成功シタ以上ハ或ハ農事試驗場ヲ利用スルナリ其ノ他ノ技術ヲ利用シテ、之ヲ大ニ作ツテ各農村ニ分布シテ戴クト云フコトニナリマシタナラバ、本年現在ノ直ニ必要ナ農ノ肥料等ニ對シマシテモ、相當ノ肥料ヲ養スルモノデアラウト思フノデアリマスルガ、之ヲ急速ニ實施シテ戴クトニ參リマセズデセウカ、其ノ點ニ對シテ御意見ヲ御聽キ致シタイノデアリマス

○松村國務大臣 第一ノ點ヲ綜合食糧ノ供出ニ加ヘルト云フ御話デゴザイマス、モウ一ツハ米ヲ直接露絲業者ニ増セト云フ御話デゴザイマス、之ニ對シテ茲ニソレヲスルト云フ聲明ヲセヨト云フコトデゴザイマスガ、實際ニ等ノコトハ是非露絲業者ヲ責ハナケレバナリマセヌノ、考慮ヲ致スコトヲ約シテ居ル露絲業者デゴザイマスガ、併シナガラ今茲ニ必ズ斯ウ云フ風ニスルト云フ聲明ハマダ熟サナイモノゴザイマスノデ、何レ近イ議會ニ方針ヲ定メテ聲明ヲ致シタイト思フノデアリマス、ナゼ出來ナイカト申シマス、食糧事情ハ御承知ノ通りデモアリマスクレドモ、例ヘバ聯合供出ト申シマシテモ、

今日ヤツテ居リマスモノハ總テ直接食糧ニナルモノヲヤツテ居リマスガ、間接ニ食糧ニナルモノモ之ニ加ヘルカドウカト云フ問題ガアリ、之ヲ加ヘルナラバ特別會計ノ規則ニモ變ヘテ掛ラナケレバナラヌト云フ點モアリマスノデ、茲ニ御尋ネニ對シテ是レ以上ノコトハ申上ケ兼ネマスルガ、近イ中ニ何等カノ方策ヲ申上ゲルヤウニ致シタイト思フノデアリマス、ソレカラ第二ノ支部ノ廢止ノコトニ付キマシテハ、是ハ總務局長カラ詳シク説明ヲ致サセマス、ソレカラ第三ノ「バクテリア」ニ依リ栽培法ニ付キマシテハ、此間モ何處カノ委員會デ申シマシタガ、福島縣其ノ他ノ成績見マスト顯著ノ效力ノアルコトハ、私共素人トシテ能ク分ルト思フノデアリマス、之ヲ此ノヤウナ肥料ノナイ時デアリマスカラ、全國ニ普及セシメルコトガ宜イト私モ考ヘルノデアリマスガ、併シナガラアレハドウモ實際ヤツテ見ルト效果ハアレハウデゴザイマスクレドモ、科學的ニ斯ウ云フ理論デ斯ウ云フ風ニ戴クト云フ學理的ノ根據ハマダ出テ居リマセヌノデ、先般モ申シマシタガ、農林省トシテハ之ヲ獎勵スル譯ニハ參リマセヌクレドモ、別ニ團體ニ作リマシテ、サウシテソレニ皆リシ御協力下スツテ、其ノ手デ全國ニ普及セセル方宜カラウ、是ハ全ク簡單ニ申セバ、バクテリアアレテ穀類ノ草ナリニ掛ケマシテ、一種ノ極メテ即製ノ堆肥ノヤウニ作ツテ、之ヲ植物ニ堆肥ト同ジヤウニヤル譯デアリマスカラ、ヤツテ別ニ惡イト云フコトハアリマセヌ、ヤツテ結果ハ良イノデアリマシテ、サウ云フ意味デ獎勵シテ然ルベキト思フテ居ル譯デアゴザイマス、其ノ發明者ガ鎌倉ニ居

ツテ、東京ニ來ナイデアリマシタケレドモ、先般ワザ／＼訪チテ參リマシテ、先刻御話ノヤウナ東京農聯デケニ任セルト云フヤウナ、考ヘ方ハ、斯ウ云フ非常時デカラ全國ノ利用ニ公開シテ宜シイ、又學術的ノ研究ニ係ツテモ宜シイ、ソレハ任セルカラト私ノ方マデ申出テ居リマスカラ、其ノヤウナ方法ヲ速急ニ全國ニ普及サシタイト思フテ居ルノデアリマス、是デケ申上ゲテ置キマス

○楠見政府委員 道府縣農會ノ支部ノ廢止ヲ廢止致シマシタ理由ニ付キマシテハ、此ノ委員會デ開田サシノ御質問ニ對シマシテ詳細説明ヲ申上ゲタ譯デアリマス、要スルニ現在ノ三十八條ノ規定ハ、支部ヲ道府縣農會ニ設ケ、場合ニ於キマシテモ、其ノ區域ニ付テハ、區域、或ハ特別ニ主務大臣ガ指定致シマシタ市ノ區域、サウ云フヤウナ區域ニ付キマシテハハツキリソレカラモウ一ツハ、先程モ御話ガゴザイマシタヤウニ、支部長ハ理事デナケレバナラヌト云フ制限ガアル譯デアリマス、是等ノ制限ヲ廢除致シマシテ、自由ニ道府縣農會ノ意思ニ基キマシテ、會則ヲ御決メ願フ、斯ウ云フコトニ致シマシタノガ、此ノ規定ヲ倒除致シマシタ理由デアリマス、併シナガラ其ノ際モ申上ゲタノデアリマスガ、我々ト致シマシテハ、道府縣ノ支部ニ付キマシテハ、規定ハ廢止致シマシタガ、寧ろ政府ト致シマシテハ、今後ノ農事指導ノ觀點カラ斯クノ如キ支部ノ設置ハ特ニ必要ヲ感致シテ居リマス、併シ今申シマスヤウニ色々ノ制限ガアリマスノデ、寧ろ是等ノ制限ヲ廢除致シマシテ、自由ニ御決メ願フツ

方ガ農會ノ發達ヲ圖リマス上ニ於テ却テ便宜デハナカラウカ、斯ウ云フ趣旨ニ外ナラナイノデアリマス、此ノ點御諒承願ヒタイト思ヒマス

○山田(六)委員 サウ致シマスルト、此ノ支部ノ設置ニ付テハ、此ノ三十八條ノ倒除セズシテ、道府縣農會ハ必要ニ應ジテ支部ヲ設置スルコトヲ得ルト云フヤウナ條項ニシテ、之ヲ活カシテ置クト云フ方ガ却テ宜シヤウニ思フノデアリマスガ、之ヲ全部廢スルト云フコトハ、結局政府ノ方針ハ支部ヲナクシテシマフト云フヤウニシカ考ヘラレナイノデアリマス、サウ云フ風ニシテ、此ノ三十八條ヲ御趣旨ニ適フ條文ニシテ之ヲ活カシテ置ク、斯ウ云フ方法ニ致シマシテハ如何ノモノデアリマセウカ、此ノ方ガ却テ政府ノ目的ヲ達成スルコトガ出來、立派ニ實情ニモ適フ、斯ウ思フノデアリマスガ、此ノ條項ヲ取ツテシマフト云フコトハ、支部ニ働イテ居ル人々ノ努力ノ上ニ、相當ノ影響ヲ精神的ニ與ヘルノデハナイカト云フコトモ心配スルノデアリマス、其ノ點ニ付テ御所見ヲ御聽キ致シマス

○楠見政府委員 現在支部ニ於テ働イテ居ラレル方々ニ對スル趣旨ノ徹底ニ付キマシテハ、我々ト致シマシテハ、特ニ注意ヲシテ誤解ノナイヤウニ努力致シタイト考ヘルノデアリマス、併シナガラ三十八條ノ規定デ、只今御述ベニナリマシタヤウナ趣旨ヲ殘スト云フコトデアリマス、殆ド法律トシテノ意味ガナイヤウニ存ジマスノデ、寧ろソレナラバ今閣下案トシテ提出致シマシタ如ク、此ノ規定ヲ廢除致シタ方宜カラシ、左様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○川崎委員長 委員長カラ申上ゲマス、其ノ點ニナルト後ノ機會エ讓ツテ戴イテ、只今大臣ガ御急ギノヤウニ承ツテ居リマスカラ、大臣ニ對スル質問ヲ先ニシテ戴キタイ、山田サシノ方ハ大臣ニ對スル質問ハ終リマシタカ、ソコデアト別所君ト安孫子君ノ質問ガアルノデアリマスガ、安孫子君ハ運輸省ノ自動車局長ニ對スル質問モ兼ネテ居ツテ、廳ノ局長ガ來テ居ラレマスカラ、別所君ノ方ヲ成ベタ簡單ニ先ニシテ戴イテ、安孫子君ノ方ハ大臣ヲ御歸シシテカラ自動車局長ニ御質問シテ戴キヤウニ願ヒマス

○別所委員 只今委員長ノ御注意ガアリマシタノデ、極メテ簡單ニ二、三點伺ヒマス、農林省團體法ニ關セラレマシタ際ニ、内務省ト農林省ト間ニ相當話合ガアツタヤウニ思ヒマス、ト云フノハ、地方町村ニ於テ農林團體ト町村役場トノ對立ト云フコトヲ内務省方面ガ御心配ニナツタ、其ノ時ニ原則トシテ町村長ガ農會會長ヲ兼ねルト云フコトデ、大體内務省ト農林省ト諒解ガ付イタヤウデアリマスガ、今回ノ此ノ改正ニ依リマス、恐ラク第四十八條ガ其ノ御用意カト思ヒマスガ、農林當局ト致シマシテ、町村ノ實情カラ考ヘテ、町村長ガ適當ナ人デアレバ兼任スルコトガ是ナリ、サウ云フ御考ヘデアリカト云フ點ヲ大臣ニ伺ヒタイト思ヒマス

向來次ニハ農村ニ於ケル經濟事業ト指導獎勵事業ト分離ト云フコトニ付テ、昨日トナカノ質問ニ對シテ政府ノ所見ヲ明カニシテ居ラレマスカラ、今重ネテ茲ニ伺フコトヲ止メマスガ、實際ノ問題ト致シマシテハ、農業ノ指導獎勵ノ仕事ヲ町村役場ノ事務カラ除ケ

○楠見政府委員 現在支部ニ於テ働イテ居ラレル方々ニ對スル趣旨ノ徹底ニ付キマシテハ、我々ト致シマシテハ、特ニ注意ヲシテ誤解ノナイヤウニ努力致シタイト考ヘルノデアリマス、併シナガラ三十八條ノ規定デ、只今御述ベニナリマシタヤウナ趣旨ヲ殘スト云フコトデアリマス、殆ド法律トシテノ意味ガナイヤウニ存ジマスノデ、寧ろソレナラバ今閣下案トシテ提出致シマシタ如ク、此ノ規定ヲ廢除致シタ方宜カラシ、左様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○川崎委員長 委員長カラ申上ゲマス、其ノ點ニナルト後ノ機會エ讓ツテ戴イテ、只今大臣ガ御急ギノヤウニ承ツテ居リマスカラ、大臣ニ對スル質問ヲ先ニシテ戴キタイ、山田サシノ方ハ大臣ニ對スル質問ハ終リマシタカ、ソコデアト別所君ト安孫子君ノ質問ガアルノデアリマスガ、安孫子君ハ運輸省ノ自動車局長ニ對スル質問モ兼ネテ居ツテ、廳ノ局長ガ來テ居ラレマスカラ、別所君ノ方ヲ成ベタ簡單ニ先ニシテ戴イテ、安孫子君ノ方ハ大臣ヲ御歸シシテカラ自動車局長ニ御質問シテ戴キヤウニ願ヒマス

○別所委員 只今委員長ノ御注意ガアリマシタノデ、極メテ簡單ニ二、三點伺ヒマス、農林省團體法ニ關セラレマシタ際ニ、内務省ト農林省ト間ニ相當話合ガアツタヤウニ思ヒマス、ト云フノハ、地方町村ニ於テ農林團體ト町村役場トノ對立ト云フコトヲ内務省方面ガ御心配ニナツタ、其ノ時ニ原則トシテ町村長ガ農會會長ヲ兼ねルト云フコトデ、大體内務省ト農林省ト諒解ガ付イタヤウデアリマスガ、今回ノ此ノ改正ニ依リマス、恐ラク第四十八條ガ其ノ御用意カト思ヒマスガ、農林當局ト致シマシテ、町村ノ實情カラ考ヘテ、町村長ガ適當ナ人デアレバ兼任スルコトガ是ナリ、サウ云フ御考ヘデアリカト云フ點ヲ大臣ニ伺ヒタイト思ヒマス

ナシマヒマス、委任事務メケガ残ツ
テ居ル云フコトニナリマシテ、町村
ノ振興ノ上ニ於キマシテハ、寧ろ經濟
事業ト指導機關ノ事業ト分限セシマ
シテ、其ノ監督組合トハ農商トカ云ツ
モノニ分テ、町村ノ經濟本位ニ建
直シテ行ツ方宜クハナリカト考ヘ
ルノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ
大臣ノ所見ヲ伺ヒタリ思ヒマス、更
ニ過日職キマシテ資料ニ依ルト、町村
ニ於ケル農業會ノ任意加入ハ相當數ガ
數ヘラレル譯デアリマス、ドウモ農
業會内ニ於ケル經濟事業ニ關係致シマ
ス人ト、指導機關ノ方ニ關係ノ人ト
ハ、自ら役員組織ノ上ニ於テモ選擇ノ
基準ガ變ツテ參リマス、寧ろ新工業者
ヲ相當部分持ツテ居リマスヤウナ町
村ニ於ケル農業會ハ、町村ニ依リマシ
テハ市街地信用組合ヲ作ツテ村々御方
針ヲ執ツテ實ヒタイ、是非當ニ窮屈
ナ制限ガアルヤニ近畿地方アヤリマ
スハレテ居ルガ、ソコデ町村ヲ指導ガ
アレバ、ドン／＼南信地信用組合ヲ許
可スルト云フコトニシタラドウカ
最後ニハ悉ク他ノ委員會デモ色々
當局ノ所見ヲ求メラレタリ思フガ、
明年度カラハ小作料方金納ニナル、今
日ノ供出ノ面カラ言ヘバ、小作料金
納ニ致シマスコトハ、或ハ當リ得テ居
ルモノ知レマセムガ、實際農村ニ於ケ
ル農民ハ先祖代々土地ヲ持ツ、其ノ
土地カラ收穫モラレタリ小作料トシ
テ納メサセタ、ソレヲ先祖ノ靈前ニ供
ヘテ、其ノ遺徳ニ感謝シ、落着イテ郷土
ニ暮シテ居ル、是ハ日本ノ家族制度ノ
私ハ美風デアラウト思フ、農村ノ封建制
度打破ト云フコトカラ、此ノ美シキ家族
制度ト申シマスカ、日本農村ノ昔ナガラ
ノ味ヒヲ失フコト云フコトハ、私ハ大キナ

問題ト思フ、此ノ點ニ付テ地主ノ家
庭ニ於テ消費スル位ノ米ハ其ノ所有地
ノ中カラ現物ヲ以テ納メサセルト云フ
コトガ本當ニ味ノアル人間ノ理想ニ關
ス所以デアル、此ノ點ニ對スル御所見
ヲ伺ヒタイ、更ニ是ハ御願ヒデアリマ
スガ、未利用資源粉化食物ガ年度ノ
食糧ニ重大ナル役割ヲ持ツコトハ、度々
御説明ヲ願フ所デアリマス、只
今大臣ノ御説明ニ依リマシテモ、此ノ
粉化セシメル準備ガ折角努力シテ居
ルト云フ御話ガゴザイマシタ、今日マ
デ民間ノ施設等ヲ十分ニ御利用ニナ
リ、一刻ヲ速カニ米ノアル間ニ、斯ウ
シテ代用食ヲ供給シテ戴キマスナラバ、
當ノ綜合配給ヲシテ戴キマスナラバ、
食糧事情ハ餘程憂シ良ナル、昨年ノ
如ク或ル月ニハ大豆バカリ、或ル月ニ
ハ麥バカリト云ツタヤウナコトデハ、
同ジデケノ量ヲ結局ニ於テ戴クニ致シ
マシテモ、其ノ配給ガ綜合的デナカッ
タ爲ニ、消費者ニ與ヘマスル苦痛ハ、
非常ナモノデゴザイマスカラ、來年度
ノ未利用資源ガ百萬石計算セラレルト
云フヤウニ、昨日モ御伺ヒ致シマシタ
ガ、成ベク速カナル時期ニ、混合配給
ヲ時ニ御準備ヲ戴キタイト思フデア
リマス、以上御尋ね申上ゲマス
○松村國務大臣 只今ノ御質問ニ對シ
テ御答ヘリ申上ゲマス、農業會長ト市
町村長トノ兼任ニ關スル御話デゴザイ
マスガ、是ハ内務省トノ間ニ出來ルデ
ケ町村長ヲシテ兼シムルガ宜シイト
云フ御解モアツタノデゴザイマス、併
シ今度此ノヤウニ會員カラノ自由ヲ選
舉ニ依リテ決定シヨウ、斯ウ云フ
コトニナリマス、ドウモ新ウ云フ
バレタル場合ニ於テ、ソレガ町村長ト

一ツデアリマスカ若シハ分レルカト
云フコトハ、其ノ地方ノ農民ノ選舉者
ノ意向ニ依ルト云フヤウナコトニナル
譯デゴザイマスカラ、之ヲ兼シムル
ト云フコトハ、ドウモ法理ニ依ツテ決
メルコトハ出來ザルト考ヘテ居ル譯
デゴザイマス、已ムを得ザル傾向ト考
ヘマス、併シナガラ大體町村長ガ兼任
ガ宜シイト云フヤウナ意向ヲ持ツ町村
モ相當ニアラウト思ヒマスカラ、是等
ノ村民ノ意向デ、或ハ云フヤウナコト
ニナリマスコトハ、尚ニ望ミシイコト
トモ考ヘラル、ノデアリマス、ソレカ
ラ町村ト農業會ノ考ヘデアリマスガ、
之ニ付キマシテハ、先刻モ話ガアリマ
シタガ、之ヲ農業會ト云フモノノ公ノ
機關トスルト云フ考ヘ方ト、協同組合
ノ委行カウト云フ考ヘト、是ハ別ニ
矛盾スル考ヘデハゴザイマセムレド
モ、町村ヲ農業會化スルトカ、農業會
ト町村ト一ツニナルトカト云フ風ニハ
事實參リ兼シムルノデアリマシテ、現在
ノ所御話ノヤウナ制度ニハナリ兼シム
ルノデハナリカ、併シ實際ト致シマシ
テハ、大體此ノヤウナ風ニナツテ居ル
村モ多イコトデゴザイマスカラ、ドウ
モ事實ニ於テハ大體始一ツニナツテ
居ル所ガ全國ニ相當ニアルト思ヒマス
ソレカラ小作料ノ金納ノ問題デゴザ
イマスガ、之ニ付キマシテハ、今農地
法ノ委員會デ色々質疑等ガ行ハレテ
居ル際デアリマシテ、マア大體小作料
ヲ物納ニスルカ金納ニスルカト云フコ
トハ、長イ間ノ問題デゴザイマシテ、
今御セラレル淳風美俗ノ點ハ、私モ十
分認メマス、此ノ淳風美俗ハ認メマス
ガ、同時ニ小作料ノ問題ニ付テ絶エザ
ル爭ヒガアルト云フコトハ、是レ亦一
方ノ事實デアリマスノデ、寧ろ此ノ際

金納化トシテ戴クト共ニ、其ノ小作料
ガズツト動かヌト云フコトハ、他ノ物
價トノ比率モアリマスカラ、或ル時ノ
物價ノ變動ニ伴フテ小作料ト云フモノ
ヲ動カス、斯ウ云フヤウナ形ニスル方
ガ一等宜クハナカラウカ、殊ニ農地法
ノ觀念ト致シマシテ、地主ガ自ら耕シ
得ル範圍ヲ先ヅ五町歩程度ト云フ考ヘ
方カラ出發致シテ居ルノデゴザイマス
カラ、其ノ範圍内ニ於テ全部ヲ小作
シテモ應ヒマセムケレドモ、又其ノ間
ニ於テ祖先ニ傳ゲル米ナドモ保有シタ
中カラ取り得ルコトト存ズルノデゴザ
イマス
ソレカラ最後ノ御質問ニ對シマシテ
ハ、市街地信用組合ノ設立ニ關スル
制限ハ緩和スル、斯ウ云フ御話ニ付キ
マシテハ、是ハ私ノ考ヘ方デハ、市街
地信用組合ト云フモノハ、是ハ別ニ農
林省ニ於テアル譯デアリマスケレド
モ、取扱ニ於テマシテハ、市街地信用
組合ト云フモノハ、是ハ新工業者ヲ
大體中心トシテアル譯デアリマスノ
デ、是ハ別途ニ考ヘナクテハナラヌト
思フノデアリマス、併シ御話ノ通りニ、
設立ニ關スル制限ハ嚴重ニシテ置ク必
要ハ、或ハ今日ノ場合ナラバナイカト
思フノデアリマス、是等ニ付キマシテ
ハ、先刻申上ゲマシタノハ、多少間違
ヒガアリマシテ、主管ハ大藏省ニ近年移
ツテ居ルノダサウデゴザイマスカラ、
大藏省ノ方面デ考ヘマセウケレドモ、
是ハコチヲ信用組合トハドウシテモ
別ノ行キ方ヲシナクチャナラヌノデヤ
ナイカト考ヘテ居リマス
○川崎委員長 次ハ安孫子君
○安孫子委員 時間ガアリマセヌノデ
極ク簡單ニ御質問申上ゲタイト思ヒマ
ス、第一ニ御質問申上ゲタイコトハ、

先程加藤サンノ質問ニ對シテ、大臣カ
ラ高度技術ノ發達ノ必要ニ付テ振興サ
レタノデアリマス、ドウモ此ノ食糧
ノ増産ニハ高度技術ガ發達ヲ及シナ
ケレバナラヌコトハ申上ゲルマデモナ
イト思ヒマス、高度技術ノ活用ヲ日
稟トシテ、技術ヲ振興シタ切ナル
所ノ整備政策ガ振フレナケレバナラヌ
ト思フノデアリマス、此ノ點ニ對シテ
ハ抽象的ニハ誰モ不賛成ハナイノデア
リマスガ、實際的ニハ中々サウ行ツテ
ナイ點ガ色々アルト思フノデアリマ
ス、是ハ技術ノ開發ハサウ手取早キヤ
ル譯ニ行キマセムデ、ドウシテモ時間
ガ暮ルノデアリマスカラ、毎日急ガ
レル所ノ行政ニ當ツテ居ル方々ハ、自
分ノ主眼カラシテ、ドン／＼ヤツテ行
クト云フヤウナ譯合デアリマシテ、ソ
レガ爲ニ技術者ハ或ハ融通ガ利カナイ
トカ、或ハ頑固デアルトカト云フヤウ
ナ非難ガヘツテ、技術者ノ意見ヲ採
用セズ、又技術者ノ技術ヲ活用シナイ
ト云フヤウナ意見ガ非常ニ多イノデア
リマス、特に農業ノコトハ、技術者ガ
較ノ事項ニ關シテ居リマス關係上、
ドウシテモ綜合一體トシテ獎勵シテ
行カケレバナラヌノデアリマスガ、
現在ノ地方ノ行政機構ニ於テマシテ
ハ、ドウモマダ相當ノ程度主眼タカ
ルヤウデアリマシテ、ソレヲ一體化ス
ル上ニ非常困難ヲ感スルノデアリマ
ス、實際デアリマスレバ、經濟第一
長ガソレヲヤルコトニナツテ居リマス
ケレドモ、現在ノヤウニ總エズ煩雜ニ
送ラレルヤウデハ、農業ノ複雑ナ技術
ヲ十分徹底知ニナルマデニ時間ガ暮ル
ト思フノデアリマス、ソレデヨク技術
者ガ斯ウ云フコトヲ言ツテ居リマス、
經濟部長ガ御送りニナルト教育スルノ

ニ半年モ一年モ時日ガ掛ルト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、ソレデ漸ク分ルト又更迭ニナルト云フヤウナ状態デハ、大ニガ今御話ニナツタヤウナ技術ノ發達ト云フヤウナコトモ、非常ニ困難デアルト思フノデアリマスガ、何とか是ガ巧行クヤウナ機構ガ地方廳ニアツテモ宜カラウト思フノデアリマス、寧ろ此ノ點ニナリマスレバ、内務省ノ土木行政ノ方ハ、土木部長ハ技術者ト云フヤウナ露デ都合好ク行ツテ居ルト思ハレマスノデ、此ノ點ニ對シテ私ハ大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、人事ノ點ハ内務省ノ方ニ御伺ヒスルノガ當然ト思ヒマスルケレドモ、併シ是ノ實現ニハ農林大臣ノ御盡力ガナケレバ出來ナイト思ヒマスノデ、第一ニ之ニ對シテ私伺ヒタイト思フノデアリマス

次ニ技術ノ發達ニハ農事試驗場ノ仕事ガ大切ダト思フノデアリマス、過去ニ於テ農事試驗場ニアツタ仕事ハ、可ナリ大キナ仕事ヲヤツテ居ルノデアリマスルケレドモ、今度行政整理、財政緊縮ガ行ハレマス、自ラ農事試驗場ノ方ニ及ブト思フノデアリマス、現在ニ於ケマシテモ、農事試驗場ノ機構、内容ハ、工業方面ノ研究機關ニ比ベマスト極メテ貧弱デアリマス、數ハ多いケレトモ内容ハ貧弱デアリマス、之ニ更ニ人員ガ減リ、經費ガ減ツテ行クト云フコトニナルト、何事モ出來ナイコトニナツテ、今後ノ技術ノ發達ノ上ニ於テ、大キナ問題ダト思フノデアリマス、寧ろ私ハ是ハ農業會ニシタラドウカト思フノデアリマスガ、是ハ農業會ニ移スコトニ致シマス、斯ウ云フ利益ガアルノデアリマス、第一農業者ガ非常ニ親シミ易クナルノデハナイカト

思ヒマスルシ、又研究問題モ是ハ實際ニ即シタモノヲ採用スルコトガ出來ルト思ヒマスルシ、又必要ニ應ジマシテ技術者ヲ研究費ヲ殖ヤスコトモ出來ル、經費ヲ殖ヤスコトモ出來ルノデアリマス、此ノ方ガ巧行クノデハナイカト思フノデアリマス、是ハ其ノ方ガ今後ニ於ケマシテハ、寧ろ都合ト思ヒマスルシ、又此ノ研究機關ノ民主化ト云フ點カラ見マシテモ、サウアツテ宜カラウト思フノデアリマスガ、此ノ二點ニ對シマシテ、大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○松村國務大臣 技術ノ發達ニ付キマシテハ、實ハ今農政局ノ中心トシテ、一ツ新シイ考ヘ方ヲ立テタイト思ツテ、色々研究致シテ居ル所デゴザイマス、ソレニ付キマシテハ、今仰セノ地方廳トノ結付ケ、ソレカラ御話ノ試驗場トノ結付ケ、ソレカラ先刻加藤君ガ御話ニカリマシタ小サイ試驗場ト申シマス、サウ云フヤウナモノノ結付ケ等ヲ考ヘテ、色々ヤツテ居ル所デゴザイマス、同時ニ農業會トノ關係ヲドウスルカト云フコトモ、考ヘノ中ニ入レテ研究シナケレバナラヌコトト思ツテ居リマス、農業會ガ此ノ技術ノ研究ノ面ヲ立派ニ引受ケテ貰ヘマスナラバ、是ハ御話ノ通りニモ結構ナコトト私共ハ考ヘテ居リマス、併シナガラ農業會ガ色々ノコトヲヤツテ居ラレマスルノニ、今日ノ農業會ハ實際ニ於テドレ位マデヤウ云フ實績ヲ舉ゲタカト云フコトモ、宜イ點ハ勿論私ハ宜イト思ヒマスガ、サウ云フヤウナコトヲ考ヘマシテ、御趣旨ノヤウニ十分技術ノ徹底ヲ致スヤウナ途ヲ一ツ作り上ゲタイト思ツテ居ル、今日ノ所此ノ程度ノ御答ヘヲ致シテ置キタイト存ジマス

○安孫子委員 今大臣カラ此ノ問題ニ付テ御研究申ダト云フ御言葉ノ裁イタルデアリマス、實ハ私農事試驗場ニ三十年ノ經驗ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、一帯困難ナコトハ、新シイコトヲヤラウト思ツテモ豫算ヲ貰ヘマセヌシ、而モ斯ウ云フコトモアル譯デアリマス、先程一寸申上ゲタヤウニ、ドウモ上ノ方ハ長クオイデニナラナイ、ソレデアルカラ、十分分リニナラナイデ、主觀的ナ考ヘデ御命令ニナル、技術者ガ技術的ニ、技術的良心ノ爲メニレバ申上ゲテモ容レテ貰ヘナイ、多クノ場合ニ於テハ大抵ニ致シマシテ、上ノ御命令ガカラト云フ譯デ、自分ノ技術的良心ヲ満足セナイ仕事ヲヤツテ居ルノデアリマス、ソレデハ私ハ巧行カナイト思ヒマス、寧ろ農業會アタリニ移セバ、必要ノ場合ニ於テ經費ヲ増シ、技術者ヲ入レテ、ソレデドンデンヤルト云フコトニナリマス、又農家モ親シミ易クナリマス、實際ニ適スル仕事ガ出來ヤウト思フノデアリマス、勿論私ハ中央ノ國立ノ試驗場ヲ農業會ニ移スト云フヤウナコトマデハ申上ゲナイ、ソレハ基本的ナ試驗場ヤツテ居ルカラデアリマス、地方ノ試驗場ハドウツチカド云フト證明ノ試驗デアリマス、又指導的ノ試驗ヲヤツテ居ルノデアリマス、地方ヲ宜シイト思フノデアリマス、地方試驗場ノ如キハ、若シ此ノ緊縮ノ手ガ大ニ伸ビルヤウデアリマスレバ、到底仕事ハ出來ナイコトニナルト思ヒマス、寧ろ此ノ際農業會ニ置イタラドウカト云フ意見ナノデアリマス、若シ緊縮ノ手ガ伸ビナイデ、更ニ之ヲ擴充シテ觀クト云フヤウナコトデアリマスレバ、是ハマアヤツテ行ケルト思ヒマスガ、

ソレデナケレバ農事試驗場ノ仕事ガ出來ナイ、斯ウ思フ次第デゴザイマス、此ノ點ニ付テ更ニ大臣ノ御研究、御盡力ヲ祈願シタイト思ヒマス

○松村國務大臣 能ク考ヘマシマスガ、伊マス、經費ノ問題等モアリマスガ、是レ亦農業會デヤツタナラバ、茲ニモヤハリ經費ノ問題ヲ考ヘナケレバナリマセヌノデ、何レ能ク研究ヲ致シマス

○加藤(知)委員 委員長、之ニ關聯シテ

○川崎委員長 簡單ニ願ヒマス

○加藤(知)委員 實ハ御目ニ掛ツテ能ク御話申上ゲヨウト思ヒマシタガ、丁度今安孫子君カラ其ノ御話ガ出マシテ、農業會ノコトニ付テノコトデアリマス、此ノ席ニ簡單ニ申上ゲマシマスガ、實ハ新潟縣農業會デ、本年四月カラ増産農法研究所ト云フモノヲ拵ヘタラデアリマス、其ノ目的ハ諸君農事試驗場ト農家トヲ直接セサル、ソレカラ名人、篤農家ト農事試驗場トヲ直接セセル、斯ウ云フコトヲヤリマシタ、所ガドウシラモ其ノ間ニ仲介機關ガナクテハナラヌ、其ノ仲介機關ト云フモノハドウ云フ仕事ヲスルカト云フ、現ニ私共ノ新潟縣ノ間ニ農事試驗場、麥作試驗場ヤツテ居リマス、中々ノイ成績ヲ現ハシテ居リマス、中々ノイ關係ハチツトモ之ヲ用ヒナイ、經費ノ關係、其ノ他今安孫子君ノ御述ベニナツタヤウナ色々關係、實際ニ應用シテ居ラナイ、ダカラ新潟縣デハ麥ガ駄目ダト云フヤウナ一般觀念ガ起ツテ居ル、ソレヲ今増産農法研究所ヲ試驗場ヤツテ、其ノ成績ヲソツクリコチラノ研究所ニ移スト云フヤウナコトニスレバ、ソコデ以テ色々再試驗ノ意味ニモナリ、應用技術ノ研究ニモナル、ソレ

カラ麥作ナラ麥作技術ノ研究ニ付テハ、天下ノ名人ガ澤山居リマス、其ノ名ヲ作ツテ、名人ノヤル方法ヲ悉クソコニ現ハス、五畝以上トカ、一反歩以上トカ、實際農家ノヤルヤウナ形式ニ依ツテ現ハシマシテ、氣候風土ノ關係、栽培法ノ關係、肥培管理等ノ關係カラ研究致シマシテ、是ヲ大丈夫ダト云フコトヲ證明スル、斯ウ云フ風ニ名人ノヤルコトヲ悉ク集メテ、ソレヲ見ルトドノモノトドノモノハ一番良イノダ、斯ウスレバ必ズ良レル、氣候ノ上カラ言ツテ是デハ懸レナイノダ、斯ウ云フコトヲ真摯シテ、斯ウ云フヤウナ工合ニナルカラ是ヲ増産ガ出來ルノダト言ツテヤリマス、其當百實前ハ甘藷ヲ獲ツタ甘藷デ居タ者ガ、千畝以上モ獲レルト云フコトニナレバ、獨リデニ證明サレ、皆之ニ倣イテ來ルト思フ、此ノ機關ハ小規模、大規模ト云フコトハ對シマセメデ、大規模、小規模、總テノ應用技術ノ研究所ト云フモノヲ設ケテ、是ト試驗場ヲ結付ケル、或ハ名人、篤農家ヲ結付ケテ、農業會ノ技術者ヲ其處デ養成シテ町村ニ送り出ス、斯ウ云フコトニナルト云フ、指導ノ點ニ於ケモ一元的ニヤレルヤウニナルシ、實際ニ色々ノ人ガヤツタコトヲ經驗ニ依ツテ皆體験致シタ研究、技術者ガ出來、是カ行ツテ指導スルカラ農家カ之ニ倣イテ來ル、即チ増産ノ方法ガ實現セラレルトニナル、斯ウ云フ見地カラ、今農業會ガ始メテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ點ヲ一ツ能ク御考ヘヨ願ヒタイト思ヒマス

○安孫子委員 運輸省ノ政府委員ノ方ニ實ハ簡單ナコトデアリマスガ御伺ヒシタイト思ヒマス、ソレハ貨物自動車

ノ件アリマスガ、戦時下ニ於キマシ
テハ、輸送力強化ノ爲ニ貨物自動車ノ
統制會社ガ出來マシテ、サウシテ其ノ
當時農業團體ガ經營シテ居リマシテ農
事用ノ貨物自動車ハ、全部統制會社ニ
接収サレタヤウナ形ニナツタノデゴザ
イマスガ、戦時デゴザイマスカラ、是
ハ當然ノコトデアリマシテ、其ノ間ハ
農業會ハ畜力、人力デ、出來ル限リヤ
ツテ來タノデアリマスガ、終戦ニナリ
マシテ、軍ノ方ノ自動車モ随分薄山ア
ルヤウニ同ツテ居リマスノデ、此ノ際
ソレヲ農業會ノ方ニ配車シテ戴キタイ
ト云フヤウナ希望ヲ持ツテ居ル譯ナ
デゴザイマス、併シ統制會社ガ廢サレ
マシテ、政府ニ於カレマシテハ事業會
社ニ重點ノ配車サレテ居ルヤウニ伺
ツテ居リマスノデ、現在ニ於キマシテ
ハ、此ノ方カラ配車ヲシテ戴イテ使ツ
テ居ルノデゴザイマスガ、配車ガ極メ
テ不十分ナノデゴザイマス、又配車サ
レテモ極メテ高イノデアリマシテ、到
底農業者ハ使ヒ得ナイヤウナ状態デア
ル、ソレデ私御伺ヒ致シタイコトハ、
此ノ際ニ於テ、戦前ノ如ク農事用トシ
テ農業會ガ此ノ貨物自動車ヲ運營スル
コトヲ御認メ願フコトガ出來ルカドウ
カト云フ點デゴザイマス、ソレカラ第
二ハ、サウ御認メニナリマシテモ、配
車ガナケレバ實ハ出來ナイノデアツ
テ、配車ノ點ニ付テドウナルノデアリ
マスオト云フ點ヲ御伺ヒ申上ゲタイノ
デゴザイマス

ニ於キマシテハ一寸輸入サセテ呉レト
云フコトヲ申出ル譯ニモ行カヌヤウデ
ゴザイマシテ、我が國ノ供給力トシマ
シテハ、餘リ正確ナコトハ分ラナイノ
デアリマスルガ、來年ノ三月マデニ私
共ハ五千臺カラ六千臺出來レバ良イ方
デハナイカト大體觀シテ居リマス、來
年ハ九々一年デ、堅實ニ見積リマスレ
バ二萬輛位ノ自動車ヲ作ル、大體コン
ナ見當ヲ持ツテ居リマス、希望ノ數字
トシテハ四萬臺位ノ數字ヲ擧ゲテ、色々
ナ計算モ立テテ居リマスレドモ、
本當ノ正直ナ動カス所ヲ考ヘレバ、私
ハ二萬臺位ノモノデヤナカラウカ、是
ハ私ノ見込デゴザイマス、外レルカモ
知レマセヌ、斯様ナ譯デ、非常ニ供給
力ガ不足シテ居ル、然ルニ車ノ需要ハ
非常ニ大キイ、隨テ之ニ對シマシテ、
國民經濟的ニ見テ最モ良ク「トラック」
ノ輸送力ヲ活用スルニハドウスレバ宜
イカト考ヘテ見マシタ時ニ、ドウシテ
モ營業車ニ重點ヲ置カザルヲ得ナイヤ
ウナ考ヘニナツテ來ル、自家用車デア
リマスト仕事ニ相當業關ガアル、一年
中波ノ打タナイ仕事ハ少イ、遊ビガ出
來マス、忙シク使ツテ居ル所デモ、實
績ヲ調べテ見マスト、一日當リノ走行
「キロ」ニ於キマシテハヤハリ少ク、不
經濟デアル、ソレカラ車ノ手入ノ問題
ニ付キマシテ、我が國ハ今ノヤウナ狀
態デアリマスノデ、出來ルダケ車ノ壽
命ヲ延バシテ、手入ニ手入ヲ重ネテ、
修理ニ重點ヲ置キマシテ、之ヲ食ヒ繁
ギシテ行カケレバナラヌ、現在ノ車
ハ平均壽命ガ大體九年位ニナツテ居リ
マス、左様ナ事情デゴザイマシテ、ヤ
ハリ自家用車デゴザイマスト、其ノ點
ニ付キ不十分ナ譯ヒガ生レテ來ル、斯
様ナ譯デ、コ、新ナ需要供給事情ニ

於キマシテハ、營業車ニ重點ヲ置イテ
行カウト云フ方針ヲ立テテ居ル、併シ
ナガラ斯ク申上ゲマスコトハ、自家用
車ヲ絕對認メヌト云フ考ヘデハ毛頭ナ
イ、今申上ゲタヤウテ譯デ、車ノ遊バ
ナイダケノ仕事量ガアツテ、車ノ手入
モ肩イテ旨クヤツテ行ケル、而モ其ノ
用途ガ國民經濟的ニ極メテ重要デア
ルト云フ面ニ付キマシテハ、或ル程度ニ
自家用車ヲ認メルト云フ積リデ居リマ
ス、現ニ今同八千五百輛バカラ「軍
ノ「トラック」ヲ「マ」カ「サ」司令部
ノ厚意ニ依リマシテ民間ヘ放出致シマ
シタニ付キマシテハ、大體米麥薪炭等
ノ緊急輸送ニ重點ヲ置キマシテ、營業
車ニ重點ヲ置キマシタガ、約九百輛位
ヲ自家用ニ配當致シマシテ、五百輛位
ハ官廳ノ直接ノ用ニ配當致シマシタ、
斯様ナ譯デ、決シテ杓子定規的ニ絕對
自家用ハイカスト云フヤウニハ考ヘテ
居リマセヌ、大體今ノヤウナ方針ヲ地
方長官ニ示シマシテ、各地方長官ニ於
カレテ此處ニハ此ノ程度自家用ヲ廻シ
テモ宜イノデト云フ具體的判斷ガアレ
バ、其處ヘ配當スルヤウナ手配ヲシテ
居リマス、デスカラ全體ノ自家用ノ枠
ト云フモノハ、自動車局ノ方デ大體配
シテ居リマスレドモ、個々ノ業者ニ、
或ハ個々ノ團體ニ、或ハ個々ノ人ニド
ノ程度ニ自家用ヲ認メルカハ、一ツ各
府縣廳ニ於テ具體的判斷ノ下ニヤレ、
コチラデハ抽象的方針ヲ示シマシテ其
ノ考ヘデヤリマスカラ、御話ノ如キ安
孫子サンノヤウニ絕對必要デト云フ所
ガアリマシテ、ソレノ理由ノアル所
ト思ヒマスガ、其ノ地方長官ト篤ト御
相談戴ケバ、私共ノ方ノ指示トシテハ
自家用絕對ニイカストハ申シテ居ラナ
イ、或ル程度具體的判斷デヤツテ宜シ

イト云フコトニ方針ヲ開放シテゴザイ
マス
○安孫子委員 御話ノ趣旨ハ能ク分ル
ノデアリマスガ、實ハ北海道ハ御承知
ノ通り、一村デアツテモ小サナ縣位モ
アルノデアリマシテ、自動車ガナケレ
バ到底農産物、食糧ノ集荷ガ困難デア
リマス、ソレデ此ノ秋カラ道廳ノ方ト
モ相談致シマシテ、色々ノ方法ヲ以テ
マシテ、取敢ヘズ食糧ノ集荷ノ時ダケ
デモ農業會ニ配車セヨト云フコトヲ申
上ゲタノデアリマスガ、道廳ニ於テモ
是ハ賛成デアツテ、道廳ノ持ツテ居
タ自動車、土木或ハ營林ノ方ニ持ツテ居
タ自動車ノ半分位ヲ農業會ニ提供シヨ
ウト云フコトデ廻シテ戴イタノデアリ
マス、ソレカラ業者ノ自動車ヲ利用ス
ルニハ、一箇月三千圓、油代ガ三百圓、
三千三百圓デ、到底今ノ農業會デハ負
擔ガ出來ナイ、道廳ハ此ノ若干ヲ補助
シテヤラセルト云フコトモ言ツテ居
マス、ソレカラ軍ノ方カラ引續ギノ自
動車ハ、北海道ニハ二百三十臺配當ニ
ナツテ居ル、サウデアリマスガ、其ノ
中十一臺ダケハ自家用トシテ農業會ニ
戴キコトニナツテ居ルノデアリマス、
何レニ致シマシテモ、食糧ヲ集メルト
云フ點ニ於キマシテハ、ソコマデ入ツ
テ行カケレバ駄目ダト思ヒマス、業
者ニ頼ミマス面倒ガツテ、一箇所ニ
集メテ呉レトカ、都合ノ好イ時ニ持ツ
テ來テ呉レト云フノデ、到底急速ニ食
糧ヲ集メルコトガ出來ナイ事情ニアル
ノデアリマス、色々ト道廳當局ニ交渉
致シマス、是ハ結局運輸省ノ指示ガ
ナケレバドウニモナラナイト云フ風ニ
逃ゲラレテシマフノデス、北海道ノコ
トヲ陳情シテ居ルミタイニナツテ洵ニ
申譯ナイノデスガ、事實ハ食糧ノ集

荷ノ上ニ非常ナ困難ナコトニナツテ居
ルノデアリマス、北海道ノ特殊事情カ
ラ言ヒマス、農業會ニドウシテモ今
ノ自動車ヲ廻シテ實ハナケレバナラヌ
ト云フヤウナ事情ニアルノデアリマ
ス、是ハ北海道バカリデナク、全國ニ
斯ウ云フ事情ガアルノデハナイカト思
ヒマスガ、サウ云フ點ニ對シマシテ、
是ハ特別ノ御考慮ガアツテ然ルベシト
私ハ思ヒマス、又農家ハ斯ウ云フコト
ニ付テ非常ニ親切レナイ感ヲ持ツテ
居ルノデアリマス、餘リ貨物自動車ニ
依ル所ノ買出シ部隊ガ横行シテ居ル
デアリマス、是ダケ買出シテ來ル位ノ
自動車ガアツタナラバ、我々ニ貸シテ
呉レナイカト云フヤウナ考ヘガ出ルノ
ハ當然デアリマス、ソシテ譯ニナリマ
シテ、ソレハ理窟ノ上カラ言ヘバ、自
動車會社ニ配車スルト云フノハ當然
デ、何等ノ異論ハナイノデアリマスガ、
現實ノ問題ハソレダケデハ巧ク行カナ
イト思ヒマスカラ、私ハ能ク現實ヲ御
調ベ願ヒタイト云フコトヲ、特ニ希望
スル次第デアリマス、私ノ質問ハ是デ
終リマス
○川崎委員長 ソレデハ休息ニ入りマ
ス、午後一時半カラ再開致シマス
午後零時五十五分休息
午後二時三十二分開議
○川崎委員長 是ヨリ開會致シマス、
午前ノ會議ニ引續キマシテ簡單ナ質問
ガ御二人カラ出マシテ、ソレデ大體此
ノ質問ハ全部終了スル筈ニナツテ居
マス、蠶絲局長ニ對シテ山田君
○山田(八)委員 先ゾ御總テ致シタイ
問題ハ、最近製絲家ノ人ノ會合等ニ參
加致シテ見マス、繭ノ取引ニ付テ
今回ノ機構ノ變ツタノヲ機會ニ元ノ特

約時代ノ關係ヲ作り上ガタイ、斯ウ云フコトヲ論議サレハヤウデアリマス、又熱心ニ研究モサレテ居ルヤウデアリマス、ソレハ是等ノ人々ニ依ルト、養蠶家ト製絲家ノ間ノ親密サガ現在ノヤウナコトデハ皆ク行カナイ、隨テ思フヤウナ事作り得ナイシ、取引モ圓滑ヲ缺ク、ガカラシテ養蠶家ノ指導ヲ製絲家ノ方ニ依ツテ行ツテ、モウシテ元ノ特約時代ノヤウニ、製絲家ト養蠶家ノ間ノ連絡ヲ濃厚ニ致シタイト云フ要點ガ中心ニナツテ來タノデアリマス、此ノ問題ハ最近特約組合ヲ長クヤリマシテ、特約組合ノ生ズル色々ナ利益モアリマスガ、又弊害モ相當モイモノデアリマスカラ、ソレハ是正シテ或ハ縣方協定委員ト云フヤウナモノヲ作ツテ取引ヲシタコトモアリ、更ニ今日ノ檢引取引ト云フコトニ進シテ來タノデアリマス、斯ガ過去ノ特約時代ヲ顧ミマス、更ニ元ノ取引ニ還ルヤウナコトハ養蠶家ノ爲ニ利益デナシニ、却テソレガ爲ニ思ハナイヤウナ結果ヲ更ニ繰返スト云フヤウナコトモアルカラ、此ノ際ドウシテモ養蠶家ノ指導ト云フモノハ養蠶會ノ手ニ依ツテ指導モ致シ、養蠶會ノ手ニ依ツテ集荷モ、更ニ諸ノ配給マデモ一元化シテアルベキデアルト云フヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、今後ノ御當局ノ指導方針ハドウ云フヤウナ方向ニ之ヲオヤリニナル御意思デアリマスガ、其ノ點ヲ一寸伺ヒタイト思ヒマス

○山添政府委員 是カラノ論ノ處理ノ問題ハ、蠶絲業會ニ於テ自治的ニヤツテ行ク方針デアリマスケレドモ、政府ト致シマシテ考ヘテ居ル所ヲ申上ゲタイト思ヒマス、養蠶家ト製絲家ノ間ニ密接ナ連絡ガアル方ガ、兩ノ増進ノ爲

ニモ、又品質改良ノ上ニモ望マシイト云フコトモ考ヘテ居リマス、隨テ製絲家ガ兩方取入レル地盤ノ割當ト云フヤウナモノヲ致シテ、ソレデ密接ナ關係ヲ保チ、相互ニ協力ヲスルヤウナ關係ヲ作ツテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、併シ養蠶家ノ指導其ノモノハ飽クマデモ是ハ養蠶會ニ於テヤツテ行ク、ソレニ對シテ製絲業者ノ方カラモ協力シテ行ク、斯ウ云フ關係ヲ參ルコトガ適當デアラウト考ヘテ居リマス、大體山田委員ガ御述べニナツタノト同意ノ心持ハ居ル所デアリマス

○山田六委員 サウスルト其ノ點ニ對シテ是マデノ練習會社ハ、練習會社ガ先ヅ兩方取入レテ、買入レタ兩方各製絲業者ニ分配ラシテヤツタ、斯ウ云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマスカ、今後ノ養蠶會ト云フモノハ養蠶會自體ハ買ハナイ、斯ウ云フコトニ承認シテ宜イデアリマスカ、又此ノ兩方買入レノ點ニ對シテ練習會社ト云フコトデアリマスガ、地盤ヲ製絲家ニ與ヘテ、地方ニ依ツテハ養蠶會其ノモノガ兩方買入レテ、消費ノ狀況ニ依ツテ他ノ工場ヲ補充シタルト云フヤウナコトノ必要ヲ起ルコトハ當然デト思フノデアリマス、サウスルト製絲業者ガ兩方取入レタチヤナラスト云フヤウナ事態ヲ生ズルベラウト思フノデアリマスガ、サウスルト場合ニハ、ヤハリ或ル地方ニ對シテハ養蠶會ガ兩方買入レ、或ル地方ニ對シテハ製絲業者ガ兩方買入レル、斯ウ云フヤウナ形式ニナルノ點ト思フノデアリマスガ、サウスルト際ニ若シ養蠶會ガ兩方供出ヤツテ行クト云フコトニナリマスレバ、養蠶會ガ一旦其ノ兩方養蠶家カラ取入レテ製絲家ノ方ニ配給ヲ致スト云フヤ

ウナ順序ニナルノカ、或ハサウスルヤウナ地盤ノ兩方製絲業者ガ買ツテ行クト云フコトニナルノカ、製絲家ノ方ニ配當ヲ致シタ地盤以外ノ土地ガ幾ツタ場合ニ對シテ、ソレヲドウサレルカト云フ問題デアリマス

○山添政府委員 養蠶ノ方ノ圓滑カラ製絲家ガ兩方買入レテデアリマスガ、其ノ時ニ養蠶會ヘトシマシテハ、色々ナ實際カラテ府縣ノ養蠶會ヲ通ジテ製絲家ガ買入レト云フ方式ガ大體宜イデヤナイカト思フテ居リマス、ソレヲ別ニシテ、所謂養蠶用ノ兩方買入レテ、之ニハ特別ノ工夫ヲ要スルト思フテ居リマス、具體的ノコトハ更ニ今後研究ヲ要スルモノガ多イト思フテ居リマスガ、今此處デハ申上ゲルマデニ立至ツテ居ラヌデアリマス

○山田六委員 イマ一ツ御伺ヒシタイトハ、蠶絲業會ノ全國ノ區域トシテ養蠶會ト、一地方ノ區域トシテ製絲會ト、二ツ出來ルト云フコトニナツタ居ルヤウデアリマスガ、此ノ全國蠶絲業會ハ、是ハ宜シケレドモ、地方ニ於ケル所ノ蠶絲業會ナルモノノ區域ニ付テハ、大體是レノノ區域ニ蠶絲業會ヲ作ラシメルト云フ御方針ニナツテ居リマセウカ、其ノ地方ノ養蠶會ノ要求ニ依ツテ任意ニ作ラシメル、斯ウ云フコトニナルカドウカト云フコトガ、サウスルト、今一ツハ、サウスルト際ニ地方ニ於ケル蠶絲業會ト云フモノハ、中央ノ蠶絲業會、支那ノ蠶絲會、又經濟ノ中央ノ蠶絲業會ト、連絡ニ依ツテ經濟問題、ヤツテ行クト云フコトニナリマセウカ、或ハ地方蠶絲業會ナルモノハ、全然獨立シタ一ツノ法人ト云フコトニナツテ、其ノ地方ノ蠶絲業會ニ對シテ色々ナ事業ヲヤリ、或ハ指

導ヲアルト云フヤウナコトニナリ、且ツ養蠶會ノ連絡機關ニモナルト云フヤウナ趣意ニ出テリマセウカ、其ノ邊ノ所ノ御覽ナシタイ

○山添政府委員 此ノ蠶絲業會ノ制度ハ、實際ノ蠶絲業ノ發展ノ趨勢ノ要求スル所、又關係業者ノ人達ノ要求アレハ、斯ノ點ニ對シテ是レヲ建案ニナツタ話リマシテ、只今出來、アルノハ、全國一々一本一々ノ蠶絲業會、其ノ内部機構トシテ、地方ニ依ツテ養蠶會、製絲會ノ區域ト云フヤウナ所、法人ニモナラナイ形デ地方蠶絲業會ヲ作ツテ行カウ、ソレハ日本蠶絲業會ノ内部機構ニシヨウト斯ウ云フノガ理ニ進マラレバ、アル案デアリマシテ、更ニ是カラ今後ドウ云フ風ニ發展シテ行カト云フコトニ付テハ、尙モ今後ノ狀況、或ハ蠶絲業者ノ意向ト云フヤウナモノデ形ツタラシテ行クモノト考ヘテ居ル所デアリマス

○山田六委員 其ノ問題ニ付テ今一ツ御覽ナシタイノデアリマスガ、現在ノ所デ各地方ニ、或ハ東北ニ或ハ關東ニ、或ハ東海關東ト云フヤウナ工合ニ、蠶絲聯盟會ナルモノガアリマシテ、關東地方ノ蠶絲業ニ關係シテ居ル全部ノ人が集マツテ會議ラシテ居ルノデアリマスガ、是等ノ人ハ種々ナル意見ヲ交換シテ、或ハ政府ニ、或ハ其ノ他ノ共同意見ヲ具申シ、或ル問題ヲ要求スルト云フヤウナコトヲ繰返シテ參ツタノデアリマス、此ノ機關ガ今日アリマスレバ、地方ニ於ケル所ノ蠶絲業會ト云フモノヲサウスルト作ル必要ハナイノデヤナイカト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、又是ハ法人ト私私思フテ居ツタノデアリマスガ、法人デナイ

蠶絲業會ト云フ御話デアリマス、サウスルトニナルト、今マデノヤウナコトデアレバ殆ド經費ガ掛ラズシテ各業者ガ寄リ集マツテ色々ノ事業ヲ致シタ事ト云フアリマスガ、蠶絲業會ト云フコトニナルト、相當ノ機關ヲ具シシテ參ル、事務所ヲ作ラナケレバナラヌト云フコトニモナル、サウスルトモ養蠶業者ハ色々ナ中間ノ機關ノ爲ニ經費ヲ増大スルコトヲ非難シ候レテ居リマシテ、隨テ今日マデノ練習會社ナドニ於ケル一切ノ經費モ大體養蠶家ノ負擔ニ依ツテ成立シテ居ルモノト云フヤウナ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ機關ガ多ク出來レバ出來ル程、養蠶家ノ利益ヲ阻害セラル、一應ノ押渡機關ノ如クニモ思フ居ル向キモアルノデアリマスガ、出來得バメテ養蠶家は是マデノ蠶絲聯盟會ノ機ヲ進シタ位ノ程度ニ止メテ置イテ、更ニイト云フヤウナコトモ考ヘラレルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テノ御覽ヲ復驗ナシタイ

○山添政府委員 當面或ベタ簡便ナモノデ結構タト考ヘテ居リマス

○山田六委員 我ハソレデ宜シイ

○川越委員長 加藤君

○加藤君 此ノ蠶絲問題ニ付テ御覽ナシ上ケタイト思ヒマスガ、昨日五十嵐委員ノ此ノ點ニ對シテ、養蠶會對スル質問ニ對シマシテ、養蠶會ガ答ヘテ御覽ナシマス、是ハ山田委員ノ質問セラレマシタ蠶絲聯盟會社ニ對シテアル安定資金トハ、個ノヤウニ思ハレマス、果シテ是ガ原ノモノデアルトシマスレバ、ドウ云フ點カラシテ是ガ別個ノモノデアるか、隨テ今後新シク出來マス日本蠶絲業會

ニモ、又品質改良ノ上ニモ望マシイト云フコトモ考ヘテ居リマス、隨テ製絲家ガ兩方取入レル地盤ノ割當ト云フヤウナモノヲ致シテ、ソレデ密接ナ關係ヲ保チ、相互ニ協力ヲスルヤウナ關係ヲ作ツテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、併シ養蠶家ノ指導其ノモノハ飽クマデモ是ハ養蠶會ニ於テヤツテ行ク、ソレニ對シテ製絲業者ノ方カラモ協力シテ行ク、斯ウ云フ關係ヲ參ルコトガ適當デアラウト考ヘテ居リマス、大體山田委員ガ御述べニナツタノト同意ノ心持ハ居ル所デアリマス

○山田六委員 イマ一ツ御伺ヒシタイトハ、蠶絲業會ノ全國ノ區域トシテ養蠶會ト、一地方ノ區域トシテ製絲會ト、二ツ出來ルト云フコトニナツタ居ルヤウデアリマスガ、此ノ全國蠶絲業會ハ、是ハ宜シケレドモ、地方ニ於ケル所ノ蠶絲業會ナルモノノ區域ニ付テハ、大體是レノノ區域ニ蠶絲業會ヲ作ラシメルト云フ御方針ニナツテ居リマセウカ、其ノ地方ノ養蠶會ノ要求ニ依ツテ任意ニ作ラシメル、斯ウ云フコトニナルカドウカト云フコトガ、サウスルト、今一ツハ、サウスルト際ニ地方ニ於ケル蠶絲業會ト云フモノハ、中央ノ蠶絲業會、支那ノ蠶絲會、又經濟ノ中央ノ蠶絲業會ト、連絡ニ依ツテ經濟問題、ヤツテ行クト云フコトニナリマセウカ、或ハ地方蠶絲業會ナルモノハ、全然獨立シタ一ツノ法人ト云フコトニナツテ、其ノ地方ノ蠶絲業會ニ對シテ色々ナ事業ヲヤリ、或ハ指

導ヲアルト云フヤウナコトニナリ、且ツ養蠶會ノ連絡機關ニモナルト云フヤウナ趣意ニ出テリマセウカ、其ノ邊ノ所ノ御覽ナシタイ

○山添政府委員 此ノ蠶絲業會ノ制度ハ、實際ノ蠶絲業ノ發展ノ趨勢ノ要求スル所、又關係業者ノ人達ノ要求アレハ、斯ノ點ニ對シテ是レヲ建案ニナツタ話リマシテ、只今出來、アルノハ、全國一々一本一々ノ蠶絲業會、其ノ内部機構トシテ、地方ニ依ツテ養蠶會、製絲會ノ區域ト云フヤウナ所、法人ニモナラナイ形デ地方蠶絲業會ヲ作ツテ行カウ、ソレハ日本蠶絲業會ノ内部機構ニシヨウト斯ウ云フノガ理ニ進マラレバ、アル案デアリマシテ、更ニ是カラ今後ドウ云フ風ニ發展シテ行カト云フコトニ付テハ、尙モ今後ノ狀況、或ハ蠶絲業者ノ意向ト云フヤウナモノデ形ツタラシテ行クモノト考ヘテ居ル所デアリマス

○山田六委員 其ノ問題ニ付テ今一ツ御覽ナシタイノデアリマスガ、現在ノ所デ各地方ニ、或ハ東北ニ或ハ關東ニ、或ハ東海關東ト云フヤウナ工合ニ、蠶絲聯盟會ナルモノガアリマシテ、關東地方ノ蠶絲業ニ關係シテ居ル全部ノ人が集マツテ會議ラシテ居ルノデアリマスガ、是等ノ人ハ種々ナル意見ヲ交換シテ、或ハ政府ニ、或ハ其ノ他ノ共同意見ヲ具申シ、或ル問題ヲ要求スルト云フヤウナコトヲ繰返シテ參ツタノデアリマス、此ノ機關ガ今日アリマスレバ、地方ニ於ケル所ノ蠶絲業會ト云フモノヲサウスルト作ル必要ハナイノデヤナイカト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、又是ハ法人ト私私思フテ居ツタノデアリマスガ、法人デナイ

(寄附ズルトカ、或ハ露絲研ニ關係)
 寄附スルトカ、或ハ一方ハ寄附スルコ
 トガ出來ルケレドモ一方ハ寄附スルコ
 トガ出來ナイト云フヤウナコトニ付
 テ、昨日詳細説明ニ相成フタノデア
 リマスルガ、動モスレバ是ハ混同セラ
 レル處ガアリマスノデ、此ノ際今一應
 御面倒デモハツキリト區別シテ、サウ
 シテ此ノ安定資金ハ斯様ナ性質ノモノ
 デアツテ、隨テ是レノ取扱ヒニ區
 別ガアルノダト云フ所ヲ、今一應ハツ
 キリト御説明シテ戴キタイト思ヒマ
 ス

○山添政府委員 御答へ致シマス、五十嵐委員ガ御尋ネニナリマシタノハ、國有ノ蘭絲價格安定資金ノ問題デアリマスルシ、又山田委員ガ御尋ネニナリマシタノハ、ソレトハ別ノ意味ノ蘭絲統制會社ニ生ズベキ剩餘金ト云フヤウウナ意味合デ御尋ネニナリマシタ、此ノ全然違フ性質ノモノニ付テノ御尋ネデアッタ譯デアリマスガ、御セノヤウニ、斯ノコンガラカル筋合ガゴザイマスノデ、詳シク申上ゲマス、蘭絲價格安定資金ハ蘭絲統制會社ニ只今一範圍バカカリ積立テタモノガゴザイマス、之ニ付リマシテハ、日本蘭絲業會ニ出資ダニトニ致シテ居ル譯デアリマス、其ノ他ニ昭和二十年度ニ於キマシテ蘭ノ價格ヲ大幅ニ引上ゲマシタ、其ノ結果昨年度出來マシタ蘭ダ生絲ヲ作ツテ、サウウシテ價格ガ上ツタ後ニ之ヲ統制會社ニ賣ルト云フ時ニ、申セバ製絲家ノ所ニ相當大幅ノ利益ガ出ル譯デアリマス、之ヲ製絲家ニ持タセナイデ製絲業界全般ノ爲ニ出サセルト云フ意味合ニ於キマシテ、其ノ差益金ヲ蘭絲統制會社ニ納マルヤウナ仕組ミヲ致シテ居ル譯デアリマス、此ノ金ガ相當ノ金額エナラ

ウト思ヒマス、其ハ生絲ニクツ付イテ
來ル金ゲアリマスルカ、實絲に制會
社ニ現在全部收マツテ居ルカ、或ハ又
今後古イ蘭ニ依ツテ生産サレト云フ
關係ニ依ツテ實絲統制會社ガ多數シタ
後ニ、日本實絲業會ノ方ニ或ル部分行
クモノモアラルト云ヘテ居リマス、何
レニ致シマシチキ、此ノ金ハドウ云フ
點ニ使フカ、此ノ相當部分ヲ實絲價格
安定資金ノ方ニ日本實絲統制株式會社
ナリ、或ハ日本實絲業會ナリノ方ヲ選
入レルモノト思ヒマス、其ノ他ノ養蠶
ニ關スル施設乃至ハ蠶絲業ノ改良發達

ノ爲有敎ナルヲ認メテ提出シテモ宜イ
器アリマス、但シ其ノ場合寄附金ト
云フ御話ガ今出マシタガ、是ハ色々觀
法上等ノ關係モゴザイマシテ、寄附金
デナク、日本蠶絲統制株式會社ノ固有
ノ事業、又日本蠶絲業會ニ收入ニナツ
タモノデアリマスレバ、蠶絲業固有ノ
蠶絲ニ關スル事業トシテ行ク必要モ
ルト思ヒマン、兎モ角サウ云フ蠶絲業
ノ改良發達ノ爲ニ使ツテ宜シイト考ヘ
マス、斯ウ云フ性質ヲ持ツテ屬スモノ
デアリマス

○加藤(知)委員 詳細ニ御説明ヲ承ツ
タノデアリマスガ、御案内ノ如ク、大
日本蠶絲業會ノ蠶絲科學研究所ハ、是
等蠶絲業ノ發達ノ上ニ、非常ニ貢獻ス
ルモノガ多カラウト思ヒ居リマス、
所ガノ空襲ニ依ツテ建造物ガ悉ク破
壞サレタヤウナ大災アリマス、幸ヒ
ニ此ノ研究其ノモノニ付テハ、依然ト
シテ迄ノ進メテ居リヤウナ大災デアリ
マスガ、併シ何ヲ言フテモ、ヤハリ研
究スル經費ガナケレバ、其ノ研究ガ繼
續シテ行クコトハ出来ナイノデアリマ
スカ、斯様ナ場合ニ於テ、此ノ蠶絲
統制株式會社ヲ設立テテ買キマシタ

ノ安定資金ガドノ位ニナツテ居ルカメ
バ判明シナイヤウニ伺ヒマシタガ、寛
タハ之ヲ全部ト由ラゲタイケレドモ、
ソコニ又色々御事情モアリマセウカ
ラ、其ノ一斑ヲ觀テ、伺レノ方法ザ
モ宜シウゾガイマスカラ、懇向ケラレ
ルヤウニ御取計ヒテ願ヒタイト考ヘル
ノザアリマス、尙ホ此ノ還銀價格安定
資金ハ、即チ法定上課税ノ免除セラレ
ル關係カラ、只今ノ所ゾツクリソレバ
新シク出来ル日本郵船會社ヤルヨリ
外ニ方法ガナイヤウニ伺ヒマシタ、併
シ昨日五十嵐委員ニ對スル御答辯ノ中

ニ、實ニ殊ノアルコトヲ御セムナツテ居ルノデアリマス、ソレハ諸ノ工合ニ依ツテモ、或ハ今由上ゲタ原料科學研究所ノ方ヘ差向ケルコトガ出來ナイイバカリデモナイカ、類々想像スルノデアリマス、若シサウ云フ條給ガ多少デモアルト云フコトデアリマシタナラバ、研究所ノ常用ハ變ラアリマシム宜シイモノト考ヘマスカラ、ソレモ一ツ御盡力ニ依ツテ併セテ科學研究所ノ方ヘ差向ケルヤウナコトニ御計シヒ下サルヤウニ、此ノ際切ニ御願ヒラ致シテ置キマス、尙ホ此ノ點ニ對シテ當局ノ御意見ヲ伺ヘバ結構ト存ジマス

○山添政府委員 今後鐵線ノ科學研究ニ徹底強化シタルレバナラヌコトハ、只今御述べナリマシム道アリマス、陸子大日本鐵線會ノ鐵線科學研究所ノ強化シテ行ハト云フコトニ付キマシタモ、全く同感デアリマス、鐵線價値格安定資金ノ問題トハ別ニ致シマシチ、其ノ資金等ニ付キマシテモ十分價ヲ折リタイト考ヘテ觀リマス

○加藤(知)委員 ソコダ鐵線業會ノコトデアリマスガ、昨日來ノ御説明ニ依リマシテ、政府ノ御趣旨ノ存スル所ハ

能クテ意欲シマシタ、併シナガラ私共ノ考ヘル所ザハ、都道府縣ニ於テ自治的ニ黨派會ナルモノヲ組織欲シマシテ、其ノ自治的ニ組織セラレタ都道府縣ノ黨派會ガ、全國的ニ中央ニ集結サレテ、ソコで聯盟組織ノヤウな工作ニシテ、本黨ノ體キハ其ノ地方々々ニ於テ其ノ府縣々々ノ黨派會ガ優タ、斯ウ云フ風ニスルコトガ、ヤリ方トシテハ一番民主的ニ相應シイコトデハナイクト考ヘルモノデアリマス、此ノ點政府ノ昨日来御示シニナリマシタコトトハ逆ニ行ツテ居リマスガ、尙ホ此ノ

點ニ付テ御考ヘナリノ便宜ハナクモ
カドウカ、併シ現在ノ御考ヘデ先ツ以
テ中央ニ於テ組織スルコトハ、是ハモ
ウ決定的名モノデアルガ、併シ都道府
縣デ以テ自主的ニヤルモノハ幾ク出来
テモ差支ヘナイ、斯ウ云フ風ナ御考ヘ
デアルトスレバ、其ノ懷リチ都道府縣
ノ警察業者ハヤラホバナラヌト思フ
デアリマス、其ノ適合ニ於ケマシテハ、
只今ノ此ノ絲價安定資金ト云フモノ
モ、サウ云フ方面ニ之ヲ助長スル意味
ニ於テ交付サレル御考ヘアリヤ否ヤ
之ヲ御尋ネ申上ゲタイト思ヒマス
○山添政府委員、絲價安定資金ハ其ノ
目的ガ限定セラレテ賸リマヌノデ、假
ニ地方ニ都道府縣ノ警察業者ガ出来テ
モ、之ヲ賸シテ其ノ方ノ助成金ニ使フ
ト云フコトハ出来セヌ
◎加藤 知事委員、ソレカ今一ツ御伺
ヒ申上ゲタイノハ、此ノ警察業者ノ經營
デアリマスガ、是ハ以前ノヤウニ個人
的ニ經營スルモノ、又會社組織ニ依ツ
テ經營スルモノ、或ハ產業組合ノ下ニ
之ヲ經營スルモノト云フヤウナ工合ニ、
自由ニ之ヲ經營セシムル政府ノ御方針
デアルカドウカ、私ノ野望ニ於キマシ

テハ、個人デアラウト、或ハ株式デア
ラウト乃至監禁組合ノ組織ヲアラウト
モ、其ノ經營ニ對シマシテハ、最長會
ガ助成シテ之ヲアラシメヨウト云フ風
ニ考ヘテ居ルノゾアリマスガ、政府當
局ノ之ニ對スル細考ヘノアル所ヲ承リ
タイト思ヒマス

◎山縣政府委員 野村敬ニ對スル企業
形態ノ自由ニ對シタイト考ヘテ居リマ
スガ、其ノ間最長會ト連繫ヲ執ルナ
リ、協力マサルナリト考ガ、今後進ミ
ベキ方向デアラウト云ヘテ居リマス

◎加藤總務員 私ハ是ヲ終リマス

○北の縣委員 一寸の變ヲ買シテ計キ
タリト思ヒマスガ、此ノ農業者ノ運
事ノ計擧ハ、委任狀ブ有數ニナルノデ
ス、ドウデスカ
○猶見政府委員 選舉ニ付キマシテ
ハ、直ニ選舉ノ方依リ議シテ居リマス
ノデ、結局選舉權ヲ有スル者、即チ農
業者ノ會員デアリマスガ、會員ガ直接
選舉ヲスル、斯ク云フ以テ考ヘテ居リ
マス
○川俣委員 私一寸修正案ヲ出スノ
デ、法文ノ整理ヲスル爲ニ、獨斷ヲ致ス
ノデアリマスガ、十四條ノ一、輕巧又ハ
原野ヲ有スル者ト第三ノ動ニ號シ、
二準ズル者ニシテ勅令リ以テ定ムルモ
ノ下ニ於テ、其ノ勅令リ以テ定ム
ル者トハ大體同一ノウキニオヘルノ
デスカ、是レ一ツヲ廢シ一ツヲ殘スコ
トニ依ツテ非常ナク不便ヲ感ジマスガ
○楠見政府委員 御答ヘ申上ゲマス、
法律ノ第十四條ノ第三項ノ「勅令リ以
テ定ムルモノ」ト云ノヤウニ測定致シ
テ居リマスノハ、勅令ノ農業團體施行
令デアリマスガ、是ノ第一條ニ規定シ
テアルノデアリマス、是ハ御付申上
ゲマシタ農業團體關係法ノ第二十五

買ニゴザイマスガ、解雇業者デアリマス
ストカ、荒茶ノ製造ヲ致シテ居リマス
者、ソレカラ永小作權者、賃借權者、
斯ウ云フヤウナモノヲ指スノデアリマ
ス、ソレカラ第十五條ノ一項ノ第二號
ノ「命令ヲ以テ定ムル者」ト云フ風ニ書
イテアリマス、是ハハヤハリ此ノ關
係法規ノ五十七頁目ト思ヒマシタカニ
アルノデアリマシテ、結局是ハ農業ヲ
營ム者デモ極々零細ナル農家ハ當然會
員ニナツテ居ラナイノデアリマス、サ
ウ云フ人々ハ當然會員ニナツテハ居リ
マセヌガ、此ノ命令ヲ規定致シマシ
テ、任意會員トナレル途ヲ開イテ居ル
ノデアリマス、ソレト同時ニ、地區内
ニ居住シテ居ル者、此ノ二ツヲ含メマ
シテ、此ノ二項ノ「命令ヲ以テ定ムル
者」ト云フ中ニ包含シテ居ルノデアリ
マシテ、此ノ「命令ヲ以テ定ムルモノ」
ト二號トハ性質ヲ異ニ致シテ居ルノデ
アリマス

○川俣委員 之ヲ統一スルコトニ依ッ
テ非常ニ不便ヲ御感ジニナリマスガ、
其ノ點ヲ伺ヒマス

○補見政府委員 今申上ゲマスヤウニ
密接ナル關係ニ有スルモノト然ラザル
モノトヲ區別シテノデアリマスガ、之
ヲ統合スルコトニ依ッテ不便カドウカ
ト云フコトハ、ドウ云フ御趣旨ヲ御考
ヘニナツテ居ルノデスカ、御趣旨ガ分
ツテカラデナイト、ハツキリ申上ゲラ
レナイト思ヒマスガ

○川俣委員 「其ノ他命令ヲ以テ定ム
ル者」ノ中ニ前ノ十四條ノ「命令ヲ以テ
定ムルモノ」ヲ包含スル規定ヲ設ケル
コトニ依ッテ其ノ點ガ統一サレノデ
ハナナカ、斯ウ考ヘルノデスカ、不便
ガアルノデスカ

會員トシテ當然會員ト云フモノハドウ
云フモノヲ見ルカ、ソレカラ任意會員
ト云フモノハドウ云フモノヲ指スカト
云フ會員ノ資格ニ關シマスル方針ト申
シマスルカ、主義ノ問題デアリマス、
隨テ先程來申シマスヤウニ、十四條ニ
掲ゲテアリマスノハ主義上是等ノ人々
ハ當然農業會ノ主體ト申シマスガ、主
體ト申シマスガ、サウ云フモノニ該當
スベキモノト云フ風ニ考ヘテ居リマ
ス、隨テ是ガ一緒ニナルト云フコトニ
ナリマス、會員ノ資格ニ關スル主義
ノ問題カラ致シマシテ、相當考ヘ方ヲ
直サナケレバナラス、斯様ニ考ヘラレ
ルデアリマス

○川俣委員 主義ノ問題デアルト云フ
點ヲ諒承出來ルノデスカ、私共大體サ
ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマ
スガ、有難クゴザイマシタ、ソコデ次
ニモウ一點大臣ニ御尋ネ致シタイト思
ヒマスガ、只今大臣ハオイデニナリマ
スノデ、政務次官ニ御尋ネ申上ゲル
コトニ致シマス、農業團體法ト云ヒ、農
地調整法ト云ヒ、大體是ハ私共ハ一本
ノ農業制度ト云フモノヲ組立テルコト
ガ必要ナルノデハナナカト考ヘル、理窟
ヲ述ベテ居ルト長イ時間ヲ要シマスノ
デ、將來農業法ト云フモノヲ作り、農
業團體或ハ農地調整ニ關スル分、農業
團體ニ關スル分、サウ云フ團體法規モ
主體デアル所ノ農業制度ヲ本體ニシテ、
ソレニ附隨スルモノトシテ其ノ中ニ
織込メルベキモノデアルト思ヒマス
ガ、將來サウ云フヤウニシヨウトスル
意思ヲ持ツテ研究シヨウトシテ居ラレ
マスカ、或ハ全然サウ云フコトヲ考慮
シテ居ラレマセヌカ、其ノ點ヲ御尋
ネシタイト思ヒマス

○紅露政府委員 御答ヘ致シマスガ、

川俣委員カラ述ベニナリマシタ法文
一本ニシテ、其ノ中ニ總テノモノヲ織
込メラドウトカト云フ御意見デゴザイ
マスガ、之ヲ一本ニ致シマス、御承
知ノ通り法文モ非常ニ大ナモノニ
ナリマス、是ガ爲メ其ノ他ニ付キ
マシテモ相當考慮スベキ點ガアルヤ
ウニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ將
來斯ウ云フ意味ニ於テ法文ヲ整理スル
ト云フヤウナ時ニハ、十分考慮シナケ
レバナラス、斯様ニ考ヘテ居リマス
ガ、併シ今直ニ、ソレデハ今御質問
ノヤウナ方向ニ向ツテ研究シ考慮シ
テ、同時ニ調査スルカト云フ御尋ネ
對シテハ、目下、所政府ニ於キマシテ
ハ左様ナ考ヘヲ持ツテ居ラナイト云フ
ヤウナ點ヲ御答ヘ致シタイト思ヒマ
ス

○川俣委員 私ハ一言ダケ其ノ點ニ付
テ意見ヲ述ベシテ置キマス、私共此
ノ戰爭ガ終結ニ至リマシタノデ、大體
國家權力ト云フモノガ、所謂獨立國家
トシテノ國家權力ガ喪失シタ結果、過
去ノ獨立國家ガ形成致シマシタ法律
云フモノハ、非常ニ弱マツテ居ルモノ
ト考ヘナケレバナラスト思ヒマス、隨
テ新シク獨立國家トナルマデノ間ニ總
テノ法規ガ十分整理サレナケレバナ
ラヌモノト考ヘルノデアリマス、隨テ私
ハサウ云フ點カラ過去ノ國家ガ形成
致シマシタ法律ニ因ハレルトナク、
速カニ新シク獨立國家ガ形成スル爲ニ
必要ナル法ヲ整理ト云フモノガ必要ニ
ナツテ來テ居ル、今サウ云フ觀點ニ立ッ
テ居ルノデアリマス、隨テ此ノ短イ期
間ニ色々ノ改正法案ヲ出サレト致シ
マシテモ、將來ノ本當ノ日本ノ獨立ト
云フコトヲ目指シテ參リマスニハ、ヤ
ハリ根本的ナ秩序ヲ立テ、行カナケレ

バ、新シク獨立國家ニハ容易ニナリ得
ナイダラウト考ヘルノデアリマス、隨
テ今カラ相當研究ヲシ、十分ナ獨立國
家ニナリ得ルヤウナ農業法ト云フモノ
ヲ研究サレル必要ガアル、斯ウ云フ意
見デケケ申上ゲマシテ此ノ點ニ付テ
質問ヲ打切りマスガ、米ニ關スル質問
ヲマダ留保シテ置キマス、若シオイデ
ニナリマシタラ其ノ點ニ付テ伺ヒマス
○川俣委員 米ノ方ノ質問ダケ留保
シテ、他ノ諸君ノ質問ハ大體終リマシ
タノデ、是デ大體ニ於テ質問ヲ打切り
ニシタイト思ヒマス

茲デナ捕ヒノ四局長ニ對シテ、序ヲ
以テ委員長カラ極メテ簡單ナコトヲ
一、二件ツツ御伺ヒシタイト思ヒマ
ス、水產局長ニハ斯様ナトヲ御伺ヒ
シタイノデス、日本ガ權太ヲ失ヒ、朝
鮮ヲ失ヒ、臺灣、海南島ヲ失ヒ、隨
南洋漁業ト北洋漁業ガ全滅ノ狀態ニナ
リマシテ、彼處カラ魚ヲ獲ツテ來テ輸
出スルコト云フ當テガ全クナクナリマ
シタ、ソコデ魚類ノ輸出ニ關シテ他ノ
補ヒノ途ヲ御考ヘデアルカドウカ、ア
レバドンナ方法ヲ考ヘテイラツカ
ルコトヒタイ、ソレカラ内地人ニ供給ス
ル魚類ノコトデスカ、魚類ハ只今御懸
ノ通りモウ氣違ヒ的ノ非常ナ高價ヲ呼
ンデ、自由販賣ニシタ爲メ、魚ハ町ヘ
躍リ出シテハ來マスルケレドモ、殆ド
手ヲ付ケラレナイト云フヤウナ有様デ
アリマス、是モ一時ノ變態デ、サウ云
フ風ニナルノデアツテ、或ル期間ニハ
元ヘ歸ルノデハナナカト思ヒマスガ、
之ニ付テハ兎ニ角魚類ノ漁獲ヲ多クセ
ナケレバナラス、物ガ少イカラ斯ウナル
アラウト思ヒマスガ、多クスルコトニ
付テハ「マツカール」司令部ニ於テモ
エライ贊成デアリ、尙又漁具漁網等ニ

付テモ、出來ルダケ援助ヲスル意向デ
アルト云フコトヲ傳聞シテ居リマス、
ソレナラバ、ソレヲ利用シテドウ云フ
風ナ手ヲ打チナサル御救リデアルカ、
今ハ漁業ニ從ツテ居ル「壯丁」數百、
應徵シテ居ル者ガ大抵漁村ヘ歸ツテ
居リマスルカラ、手不足ノ方ハ段々ナ
クナツテ來テ居ルト思ヒマスガ、此ノ
際ニ水產局ノ受持トシテハドンナ手ヲ
御打チナサルカ、大體ノ大難把ナ所デ
宜シイカラ承ツテ置キタイ

ソレカラ尙新聞報道ニ依リマスル
ト、遠洋漁業家ガ遠洋ヘ出行ケナイ
ヤウニナリマシタノデ、沿岸若シハ
近海ヘ頻リニ入ツテ來テ、其ノ沿岸近
クノ漁場ヘ大イニ喰込シテ其處デ從來
固有ノ漁業權ヲ持ツテ漁業ニ從ツテ居
ル當事者ガエライ困ツテ居ル、斯ウ云
フ話ヲ聞キマスガ、左様ナ事實ガアル
カドウカ、若シ御認メナレバ、ソレ
ニ對シテハドウ云フ方法ヲ講ジタイ
ツシヤルカ、是等ノ點ニ付テ簡單明瞭
ニ御答辭ヲ願ヒタイト思ヒマス

○笹山政府委員 只今委員長カラ御尋
ネノ第一點ハ、北洋等ヲ失ツタ結果、
將來水產物ノ輸出ハドウナルカト云フ
御質問デアリマス、此ノ點ニ付キマシ
テハ、現在許可サレテ居リマス海域ガ
制限サレテ居ルコトハ、御承知ノ通り
デアリマスガ、是ハ私共トシマシテハ
將來永久ニ瓦ルモノデアハナイト思ヒマ
ス、隨ヒマシテ現在ノ占領ノ必要上制
限シテ居ルノデ、何レ將來ニ於テハ、
其ノ點ニ付キマシテハ、必ズ緩和サレ
ルコトヲ期待シテ居ルノデアリマス
ガ、然ラバ當座ノ問題トシマシテ、輸
出ニ付テ水產物ノ方デハ何ヲ考ヘテ居
ルカト云フコトニナルノデアリマス、
此ノ點ニ付キマシテハ、輸出ガ直

付テモ、出來ルダケ援助ヲスル意向デ
アルト云フコトヲ傳聞シテ居リマス、
ソレナラバ、ソレヲ利用シテドウ云フ
風ナ手ヲ打チナサル御救リデアルカ、
今ハ漁業ニ從ツテ居ル「壯丁」數百、
應徵シテ居ル者ガ大抵漁村ヘ歸ツテ
居リマスルカラ、手不足ノ方ハ段々ナ
クナツテ來テ居ルト思ヒマスガ、此ノ
際ニ水產局ノ受持トシテハドンナ手ヲ
御打チナサルカ、大體ノ大難把ナ所デ
宜シイカラ承ツテ置キタイ

グ從來ノヤウニ回復サレルカドウカ問
題デゴザイマスガ、兎ニ角私共ノ方ト
シマシテ、外國品ノ輸入等ニ付テノ見
返リ物資トシテ考ヘテ居リマスノハ、
鹽ノ鹽詰、是ハ北海道附近ニ尙ホ若干
ノ漁獲ノ餘地ガアルノデアリマスガ
ラ、是等ノ利用シテノ鹽ノ鹽詰或ハ海
鼠、鮭子、寒天等ニ付キマシテハ、來
年ニ於テモ用意ガ出來ルノデハナイカ
ト考ヘテ居リマス

尙ホ價值ノ問題ニ關聯シマシテ、魚
ノ増産ニ關スル具體的ナ計畫ニ付テノ
御尋ネガゴザイマシタガ、是ハ先般
申上ゲマシタ通り、最モ水産ノ根幹ト
ナル漁船、資材、漁場、此ノ三ツノ間
題ニ付テ解決シナケレバナラマシテ存
テ居ルノデアリマス、即チ漁船ニ付キ
マシテハ、大體現在八十萬トシシカ
ナイノデゴザイマスガ、其ノ中ノ約三
分ノ一ハ損傷ヲ受ケテ居ル、其ノ損傷
漁船ハ出來ルダケ至急ニ回復シテ、來
年ノ三、四月ノ漁期ニ間ニ合ハシメテ
タイ、其ノ他ノ補充トシテハ代船ノ建
造モ必要デアリマスシ、又戰前ノ漁獲
高ニ回復スルニハ、相當數ノ新規造船
モ考ヘナケレバナラマシタ云フコトデ、
此ノ新造ニ付キマシテハ、木造船、鋼
造船、合計シテ約三十三萬トシノ程度
ノモノヲ、出來ルダケ速カナ機會ニ於
テ補充シタイト云フコトデ、是等ノ資
材ノ入手、或ハ其ノ一部トシテ從來軍
用艦艇等ニ使用サレテ居タモノヲ漁
船ノ方ニ轉用スルト云フコト、ソレカ
ラ今後新製ニ生産サレル所ノ資材ヲ以
ツテノ裏付け等ニ依リマシテ、是等ノ
計畫ヲ速カニ達成シタイト云フ風ニ考
ヘテ居リマス、又遼洋漁網等ニ付キマ
シテハ、是レ亦國內産ニ依リテ賄フコ
トガ困難デアリマスノデ、ソレト必

要ナ數量ニ付キマシテハ、終戰連絡事
務局ヲ通ジマシテ、輸入ニ付テノ懇請
ヲ致ス積リデアリマス、漁場ノ問題ニ
付キマシテハ、是レ亦制限ノ受ケテ
居リマスケレドモ、制限ノ區域外ニ出
テ漁獲ヲスルト云フコトニ付キマシテ
ハ、出漁ノ具體的實施ノ準備ガ付イタ
モノニ付キマシテハ、其ノ都府縣聯合國
側ニ懇請シテ、區域外ノ出漁ニ付テ努
メテ見タイト云フコトデ努力中デアリ
マス

尙ホ最後ノ點ノ最近遼洋漁業ガ不振
ニナツタ結果、ソレ等ノ業者ガ近海ニ
入ツテ沿岸漁場ヲ荒スト云フコトデゴ
ザイマスガ、沿岸漁業ノ利用ニ付キマ
シテハ、ソレノ漁業權ヲ本體ニシテ
居ルノデアリマス、無斷デ是等ノ
漁場ニ入ツテ勝手ナ振舞ヲスルト云フ
コトニ付テハ、嚴ニ取締ツテ居ルノデ
アリマス、唯現在ノ資材其ノ他漁船等
ノ關係カラ、沿岸ノ方ト話合ヒガ付キマ
シテ、漁場ヲ其處ニ設ケテ生産ヲスル
ト云フコトニ付テハ、水産ノ増産ガ何
リモ急務ナ此ノ際ニ於キマシテハ、サ
ウ云ツタ話合ヒノ下ニ積極的ニ増産ス
ルト云フコトニ付キマシテモ、是ハ宜
イデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマ
ス、唯色々ナ制限ヲ犯シテ無暗ニ沿岸
ノ人達ニ御迷惑ヲ與ケルコト云フコト
ナイヤウニ、此ノ點ニ付テハ色々注意
シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

果、希望ヲ持ツテ居ルヤウニ聞イテ居
リマスガ、是等ニ對シテ當局ノ御意見
ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○笹山政府委員 漁民組合ノ漁業正
業ト致シマシテ區域外ニ出テ出漁ス
ルト云フコトニ付キマシテハ、私マダ知
ツテ居リマセス、唯是等ノ遼洋漁業ニ
付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウ
ニ、具體的ノ計畫ガ熟シ、又實際ノ能
力ノアルモノニ付キマシテハ、私共何
時デモ出漁ガ出來ルヤウニ聯合國トノ
交渉ニ付キマシテハオ力添ヘツ致シタ
イト思ヒマス

○川俣委員 尙ホ御尋ネシタノハ、純
民間團體デアアル所ノ漁民組合ガ、「マッ
カリーサー」司令部ト直接交渉シテ居
リマスケレドモ、之ニ對スル御見解
ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○笹山政府委員 民間側ガ直接聯合國
側ニ交渉スル事柄ニ付テハ、私共ウツ
云ツタ希望ノノコトニ付キマシテ、色
色意見ナリ御希望ヲ申述ラレタルコト
ハ、向差支ヘナイコトト思ヒマス、
政府カラ、直接聯合國側ニ交渉スル場合
ニ於テハ、原則トシテハ現在ノ所轄戰
連事務局長ヲ通シテ政府トシテ交渉致
スコトニナツテ居ル狀況デアリマス

○川崎委員長 水産局長ニ御尋ネス
ルノガ、一ツ落シマシタノデ追加致
マスガ、此ノ戰爭中ニ軍需會社等デ
大量ニ魚ガ要ルノデ鹽田相場ノ高ク上
ゲテ買漁ツタ、ソレデハモトモ間ニ合
ハナクテ軍需會社等ガ、貧乏シテ居
リ、且ツ人手ノ足フナイデ居ル地方
ノ小サイ漁業人、若シテハ漁業組合
ニ交渉シ、其ノ權利ヲ貸シテ買フ
カ、買取ルカシテ、多額ノ金ヲ與
ヘテ取上ゲテ自分デ以テ漁夫ト稱ヲ施
ツテ漁業ヲシテ居ル、ソコデ本當ノ地

ノ者ハ困ツテ居ルコト云フヤウナ話ヲチ
ラホテ聞キマシタガ、ソレハ事實デア
ルカ、若シサウデアレバ右ハ水産業ヲ
民主主義化スルコト云フコトニ逆行スル
デハナイカ、今戰爭ハ止マツタノデ、
其ノ現象ガ元ニ還ツタトスレバソレデ
宜イノデアリマスガ、私ノ現ニ見テ居
ル所デ小田原沿岸ノ漁業權ノ如キハ、
ノ地方ノ漁民カラ成立立ツ漁業會、或
ハ漁業組合ガ持ツテ居ルモノヲ、段々
轉變サレマシテ、買カラ買、賣カラ賣
實ニナツテ、空襲ヲ被ケル前ノ話デア
リマスガ、東京ノ日本橋デ全ク漁業ニ
關係ノナイ商人二人ノ手ニ移ツテシマ
ツテ、別人ガ其ノ商人カラ權利ヲ借リ
テ、彼處デ漁業シテ居ルノコト云フ事
實ヲ見テ居ルノデアリマスガ、サウ云
フノハ立法ノ目的ニモ反シテ居ルコト
デアルシ、又「デモクラシー」化スルコ
トニ逆行スルコトデゴザイマスカラ、
沿岸ノ漁民ガ實ニ置イタリ賣買シタリ
スルコトヲ止メサセテ賣ヒ買ヒノデ
ス、若シサウ云フヤウナコトガアレバ、
「ボツダム」宣言ノ趣意ニ基イテ左様ナ
「ニ御座置」シテ戴イタラバドウカ
ト思ヒマスガ、當局ノ御見込ハ如何デ
アリマセウカ

○笹山政府委員 漁業權ノ轉賣貸付等
ニ付キマシテハ、漁業權ハ御承知ノ通
リ純物件トシテ取扱ハレテ居ルモノデ
ゴザイマスカラ、之ノ全面的ニ禁止ス
ルト云フコトニハナツテ居リマセス、
唯漁業權ハ御承知ノヤウニ出來ルダケ
沿岸漁民ノ手ニ依ツテ開發スルコト云
フコトガ本體デアリマスノデ、我々ト
シマシテハ、ウツ云フ風ニ從來トモ指
導致シテ居ルノデアリマス、今御話
ノ戰爭中軍需會社等ガ漁場ノ權利ヲ受
ケマシテ水産ヲシテ居ルコト云フ事柄

ニ付キマシテハ、サウ云ツタ權利者
ト、從來ノ沿岸漁民トノ話合ヒニ於テ、
沿岸漁民ノ手ニ依ツテ開發サレルヤウ
ニ、將來交渉サレルコトガ希望サレル
ノデゴザイマス、何レニ致シマシテモ、
水産ト云フ共同ノ利益ニ非常ニ關係ヲ
持ツタモノヲ、一部ノ單ナル關係ナル
關係ヲ持タナイ業者ガ獨占シテ、ソレ
ヲ單ニ一ツノ權利ノ對象トシテ色々利
用スルコト云フヤウナコトハ面白クナイ
ノデゴザイマシテ、飽クマデモ漁業權
ノ成立ノ經過ニモ鑑ミマシテ、沿岸漁
民ノ手ニ依ツテ開發スル、ドウシテモ
沿岸漁民ノ手デ開發出來ナカツ場合
ニ於テハ、其ノ開發ニ必要ナル所ノ處
置モ、場合ニ依ツテハ考案シナケレバ
ナリマセスガ、順序トシテハ出來ルダ
ケ沿岸漁民ノ開發ニ利用サレルコトヲ
希望スルヤウナ次第デゴザイマス

○川崎委員長 能ク分リマシタ、有難
ウゴザイマシタ、次ニ山林局長ニ御伺
ヒマス、政府ハ今國產食糧増産ノ目的
ヲ以テ、百五十萬町歩ノ大規模ヲセ
ラレ、大抵ノ半業者ナドモソレニ追込
ンデ先ヅ數萬シヨウト云フ大規模ノ計
畫ヲ立テイラツシヤツテ、漸ニ結構ナ
コトト思ヒマスガ、其ノ候補地ハ、皆
國有林野ニ限ラレルト思ヒマスガ如何
デセウカ、ソレナラバ何處ノ場所ト今
特定ノ地名ヲ指定シテ賦課必要ハナイ
シ、ソレハ御迷惑ナト思ヒマスガ、日
本ノ中部ニ重キヲ置クカ、北部ニ重キ
ヲ置クカ、南部ニ重キヲ置クカ、耕作
地ノ既ニアル面積等トモ比例ガアリマ
セウカラ、ドノ邊ノ見當ヲ置クモノデ
アルカ、ソレヲ御指示願ヒタイ、是ガ
第一點デアリマス

其ノ次ノ點ハ、其ノ百五十萬町歩
ノ大規模開發ニ漏レタ所ガマダ深山ア

ル、ソレニ付テ小サナ便利ナ所ハ、右ノ計畫以外ニ排下ゲテ、開墾シテ農耕地ニナシ、若シクハ自作農ヲ作ルノガ趣意ト思ヒマスルガ、ソレヲ許スカドウカ、日清戦争ノ時、戦時等ノ前例ニ依リマスレバ、戦時後壯丁ガ皆復員シマシテ、勢力ガ餘ルノデ、其ノ戦時ニ倣ヘテ意氣ト體力ヲ以テ海外ニ進出シタモノデアリマシテ、「ハワイ」移民モ、米國移民モ、「ブラジル」移民モ、皆ソレガ原因デアリマス、所カ今ハ八方塞リデ、移民ドコロカ、外地ニ居ル日本人マデ創シテナキヤ、如ク道拂ハレテ歸ツテ来ルノデアリマスカタ、思ヒモ寄ツテ来ルコトニナツテ来マス、ソコデ歸ツテ来ル日本人、若シクハ將來復員サレテ歸ルノ嘆ニ堪ヘナイ年輩ノ比較的若シ復員人等ヲ利用スル方法トシテハ、此ノ國家的大計畫トハ別ル、小サナ官有地ヲ少シク拂下ゲタナラバ宜イダラウト思フデアリマス、所ガ實情ガ全國ニ配置サレテ居リマシテ、要するに國有地ト云フ看做ヲ掲ゲテ置イテ、ソレヲ外スノデ中々僥倖ナコトデ、之ヲ外モ水澤地、困ル、之ヲ外セバ防風林ガナラハト云フ論據デ、中々僥倖ナラシメテ、抄々シク行カスノデアリマスガ、此ノヤウナ御時勢ニナリマシテ、食糧増産ガ一番必要ニナツテ来タカラ、ソノナリニ各地ノ森林ヲ伐倒ハレテ居ルハイカナイデハナナイカト思フデアリマスガ、ソレニ付テハ時代ト天地ガ變ツタダゾト云フモノノ目撃ヲ以テ、中央カラ御指令ヲ下サナバイカト思ヒマス此ノ二點ニ付テノ山林局長ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○黒河内政府委員 第一點カラ御答ヘ致シマス、今度ノ百五十萬町歩ノ開墾豫定地ガ大部分國有林デアアルカト云フ前提ノ下デノ御尋ネノヤウニ伺ヒマシタガ、私共ノ承知シテ居リマス限度トシマシテハ、國有林ハ概シテ非常ニ山奥デ、峻嶒ナ所カ多クアルデアリマスノデ、原則ト致シマシテハ、百五十萬町歩ハ國有林以外ノ所ニ求メルコトニ相成ルモノト了解シテ居リマス、勿論國有林ノ中ニ於テモ、出來得ル限リ之ヲ採シマシテ、此ノ方ニ向ケル必要アリマスノデ、目下其ノ調査ヲ具體的ニ進メテ居リマスルガ、大部分ガ國有林デアアルト云フ風ニハ參ラヌヤウニ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ、ソレニ關シテノ御質問デゾイマシタ日本ノ二點ニ關シマシテハ、自然百五十萬町歩ノ對象トシテノ話デナク、限ラレタ國有林ノ中カラ採シ出サレル關係地ガ何處ニ多クダラウト云フコトニ問題ヲ轉換シテ御答ヘシナケレバナラナイモノガアリマス、サウ云フ見地カラ申シマスルト云フト、ヤハリ東北トカ云フ方面ニ自然多クナツテ来ル、斯ウ云フ風ニモヘテ居リマス、尤モ其ノ他ニ森林省直接ノ所管チナイ北海道ノ國有林ト云フモノガ非常ニ大キナ問題デアリマスコトハ當然ノコトデアリマス

次ニ、右ニ御答ヘ致シマシタ大規模開墾ニ關シテ小サイ所ニ付ハドウ考ヘルカ、斯ウ云フ御尋ネデゾイマシタガ、是ハ私ハ大規模開墾ニ關シテ所デモ、農耕地ニナシ得ル所ハ總テ原則トシテ農耕地ニシテ參ルト云フ心掛デナケレバナラヌ所ニ在リマシテ、其ノヤウナ趣キヲ指令ヲ發シテ居リマシタデアリマス、尙ホ其ノ場合問題ニナリマスノハ、今御話ニナリマシタヤウナ水源涵養デアアルトカ、或ハ防風林デアアルトカ云フヤウナ保安的任務ヲ持ツタ林等ガアリマス、是等ニ付マシテハ、十分ニ實情ヲ勘ベテ見マシテ、古い時代ニ創設サレタ保安林ト云フカ、保安的ナ施設ヲシテ居ルモノガ、其ノ後ノ情勢ノ變化ニ應ジマシテ必要ニナルモノガ相當アラウト思ヒマス、斯ウ云フモノニ付テハ、十分ニ調査ヲ致シマシテ、解除ノ範圍ヲ狭クシテ居リタイ思ヒマス、ソレデモ林野省ノ役人ガ山ヲ愛スルガ故ニ、要するに林地ヲ不墾存地ニ組替ヘテ之ヲ拂下ケルコトガ非常ニ愛惜ノ念ニ堪ヘナイト云フコトハ、私共山ノ點ニ對シテハ居ル者トシテハ非常ニ同情出來ルコトデアラウト、ソレガ又ハツ、非常ニ良イコトデアリカト思ヒマスガ、併シ國家ノ斯ウ云フ非常ナル政策、遺憾ニ思フデアリマスノデ、委員長ノ御示シテ居ル御意ニ感ジマシテ、其ノ中心ヲ持ツ指導ヲシテ居リタイト存シテ居ルデアリマス、但シ一層增加ハタイト思ヒマスルコトハ、不墾存地ノ拂下ゲル場合於キマシテ、ヤハリ開墾ノ確實ニ出來テ行クト云フコトヲ私共確保シテ居リタイト思ヒマスノデ、ソノ對シマシテハ、場所モ依リマスルシ、又ソコニ介入シマス府廳縣等ノ色々ノ指導ノ狀態如何ニモ依ルコトデアリマスガ、個人ガ任意ニ參リマスト云フヤウナ形ノモノ、ニ於キマシテハ、ヤハリ成功ヲ條件トスルト云フコトニ致シテ參リタイ、斯レニ在リテ居ル次第デアリマス

○川崎議員 御答ニ分リマシタ、有難クデゾイマシタ、次ニ森林局長ニ御伺ヒ致シマス、森林問題ニ關シテハ、昨日、今日、熱熱ナル質疑應答ガ重ネラレマシタガ、御問答ノ模様ヲ第三者トシテ此ノ席カラ伺ウテ居ツテ、ハツキリ惹エ切ラナイヤウニ感ズル所ガアリマスノデ、ソレヲ確カメテ置キタイト思フノデアリマス、森林統制會ガ廢マツテ、全國的ニ此ノ森林業者ノ大團體ガ出來ル、是ハ規模カラ云フデモ、仕事カラ云フデモ、其ノ扱フ金額カラ云ツテモ、餘程大キナモノデ、且ツ全國ニ亘ルモノデ、農業界ニ於ケル獨立國ノヤウナ大キイモノダラウト思フノデ、然ルニ一方ハ農業會ガ全國的ニ出來テ居リマシテ、ソレカラ離レテ獨立團體ニサセルカサセナイカト云フヤウナ話ニ付テハ、今朝ノ大臣ノ答辭デモマダ曖昧デ、ソコマデノ御決心ハナイヤウデアリマシテ、考慮ト云フコトデ終ツタヤウデアリマスガ、大臣ノ考慮スルト云フノハ、事務當局ノ方々ガ色色考慮スルモノヲ、大臣ノ答辭デ以テ御意圖カシマフトイカナイカト云フ、實ニ是等ノ二ツヲ別ニシタラバドウ云フモノダカ、法場土色々々、御意圖ハ改正スレバ動作ハナイ、其ノ改正モ別ニ議會ニデ辯ゲヤウナ改正チナク、小サナモノデ行ハヘモスカ、斯ウ思フノデスガ、ソレデカラ農林省ト森林會トノ關係如何ト云フコトヲ、事務當局ト致シマシテ、ドウスレバ御便利トト御考ヘニナツテ居ルカヲ、此處ニ御意圖ヲ述ベテ置キタイ、ソレカラ農林省ハ即チ食糧部ナリ、是ガ昨日以來農林省主眼セシレテ居ル、其ノ眼目ニ付テハ農林大臣ニ於ケル御意圖ニ對シテハ、アツタガ、サウスレバ農林省ノ方ニ專念スル爲メ、森務ヲ作ツタラ馬鹿デ、甘言ヲ供出スルノニ林ハスルトガ出來ルト云フコトヲ確立サセナケレバ、農民ハ養護ノ方ニ勵ムコト思フ、

養護ニ於テ一町歩カフ得ル收穫ハ、外ノ開墾場ノ別ニシテ、所ノ問題ニナラヌ程僅少デ、野菜等、若シクハ甘藷ナドニシテ所ガ、實ニ養育人ハ非常ニ値段ガ高クテ金額カナイノデスカラ、馬鹿々々シイ、農業ニ殘ツテ居ル人間ガ少クナル、現ニ當局カラ御出シナリマシタ養護家ノ表ヲ見テモ、桑ヲ付シテ居ル面積等モドシ、減ツテシマウテ居ル、是デヤ大事ナ食糧ノ輸入ノ見返リ品ニスルニ付テハ此ノ程度デ行ケバ心細クテ堪ヘナイ、尙ホ第二點ト致シマシテハ、主として食糧品供出ニ熱ヘル森ノ立場ヲドウスルカト云フコトニ付テ、重ネテ此處ニ腹藏ノナイ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○山添政府委員 結局森林會ト云ヒマスガ、森林ノ問題ハ非常ニ關係重要モ色々方面ニ及ツテ複雑デアリマシテ、是ガ一つノ機關マツテ森林會ヲ作ルト云フ點ニ付テハ疑問ハナイ譯デアリマスガ、問題ハ養護ガ農業會ノ中ニ含マレテ居ルカラ、之ヲ引離シテ養護ハ養護シテ一ツノ機關ヲ作り、森林會ノ系統ニ屬スベキ否云々ト云フ問題、アリマスガ、是ハ昨日御話ニ申上ゲマスヤニ、サウ云フコトハシナイ方ガ宜シイ、寧ろ現在ノ農林省ノ方ニ屬シテ居ル方ガ宜イノデ、少クモ現在ニ於ケルハ宜イノデト云フ風ニ考ヘ、一居ルノデアリマス、將來日本ノ食糧問題ノ解決シ、又ソレノ養護ニシテモ、畜産ニシテモ、非常ニ安定シマシテ居リテ行クト云フ時代ガ來マシ、又其ノ時ノ情勢ニ即チテ考ヘルト云フコトガ當然アルコトハ豫期シテ居リマスクレドモ、只今ノヤウナ食糧事情ノ下ニ於キマシテ、之ヲ養護ナラ養護ヲ獨立サセルト云フコトハ、

農業經營トシマシテノ純理窟ノ上カラ

拙イト云フコトハ別問題ト致シマシ
テ、養蠶ヲ維持スルコト云フ觀點カラダ
ケデモ、私ハ非常ニイケンイト實ハ考
テ居ル譯デアリマス、ソレカラ綜合供出
ト云フ問題デアリマスガ、成程綜合供
出ト云ハレル趣旨ハ私ニモ能ク分ノテ
居リマス、併シ其ノ實行方法ト云フコ
トニナリマス、是非非常ニ困難ナ問
題ガ澤山アルノデアリマシテ、尙ホ研
究ヲ要スル、詰ル所問題ハ爾ノ供出ト
言ヒマスガ、爾ノ一生懸命ニ作ツテ實
ハナケレバナラス、併シ爾ノ作ルニハ
結局食糧ノ方ニ隘路ガアル、百姓自身
ガ自分ノ食ベル食糧ガナ、又供出ガ
非常ニキツイ爲ニ、其ノ方面カラ來ル
壓迫ト云フモノノ爲ニ爾ガ出來ナイト
云フコトデアリマス、到達點ハ結局食
糧トノ調整ヲ圖ルコト云フコトデアリマ
シテ、其ノ方法トシテハ、綜合供出ノ
問題ト、或ハサウ云フ思想 實行上
難シイコトハ別トシテ、端的ニ爾ノ供
出シタ方ニ食糧ヲ供給スルコト云フ二ツ
ノモノガアルノデアリマス、其ノ後ノ
點ニ付キマシテ、今日ノ委員會ニ於テ
大臣カラ相當強イ意味ニ於テ考慮スル
ト云フ言明ガナサレタノデアリマス

是モ詳シイ何圓何十錢ハ要リマセスカ
ラ、大體把ノ所便宜シイ、併シ私共ノ
見ル所デハ、一局部デアリマセウカラ、
農林省ノ見タ所デハ、廣幅播種ヲヤシ
タガ、是ダケト云フ増收ノ御見込ガア
レバ承リタイ、次ニ食糧補給ノ問題デ
アリマスガ、大臣ハ未利用資源ノ利用
ト云フコトヲ能ク言ツテ居ルガ、ソレ
ハ何カト云フト、團栗ノ話ガ出ルダ
ケデ、他ハ分ラナイ、之ヲ碎粉スル機
械ガナケレバ困ル、其ノ爲ニ四、五千
萬圓ノ金額ヲ計算シテ居ル、一方機械
ガアツテモ、目的ノ品物ガナケレバ困
ル、食糧事情ノ困リ方ガ切羽詰ツテ三
度ノ食事ヲ一度タケハ粉食ニシナケレ
バナルマイカラ、團栗以外ニ何カ三ツ
四ツ、或ハ九ツ十位主ナモノヲ並べ得
ルノデハナイカ、例ヘバ甘藷、馬鈴薯
ノ澱粉ヲ採ツタ滓モ利用出來ルノデハ
ナイカト期待シテ居ル、團栗一ツデハ
國民ハ安心シナイノデアリマスカラ、
團栗以下是レ、其ノ數字等ニ付テ
ノ御考ヘテ承ツテ置キタイ

○精見政府委員 第二點ノ麥ノ廣幅播
種ノ點ニ付テ正確ナル助成金ハ只今私
覺エテ居リマセマスガ、私ノ承知シテ居
ル所デモ、此ノ運動ノ爲ニ、昨年ハ最低
五百萬圓以上出シテ居リマス、其ノ成
績ハ實ハ御承知ノヤウニ色々ノ條件ガ
不適スル地性、氣候、特ニ肥料ノ問題
ガ相當大キナ影響ノ持ツテ居リマス、
ソコデ農林省トシテハ、此ノ廣幅播
ヲ獎勵致シ場合ニ於テモ、御承知ノ
ヤウニ移殖ノ問題ガアリマス、是ハ
努力ヲ中心トシタ問題デアリマス、
此ノ廣幅播種ノ方法或ハ移殖ノ方法等
ニ付テモ、ソレノ各地方ニ於テ耕種
基準ヲ決定シテ居リマシテ、積極的ニ

是ガ獎勵ニ乘出シタノデアリマス、其
ノ成績ニ付テハ、洵ニ遺憾ナコトデア
リマス、尙ホアリマスガ、處ニ依ツテハ好
イ成績ヲ擧ゲマシタケレドモ、氣候ノ
關係ガ、御承知ノヤウニ相當不良デア
リタノデ、隨ツテ此ノ爲ニ所期ノ成績
ヲ擧ゲ得ナカシタノハ、洵ニ遺憾デア
リマスガ、併シ此ノ條件サヘ適ヒマス
レバ、廣幅播種ハ決シテ一部ダ言ツテ
居ルヤウナ風ニ懸念サルベキデハナ
ク、寧ロ好成績ヲ擧ゲ得ルモノト思ヒ
マスノデ、本年モヤハリ耕種改善基準
ノ中ニモ取入レマシテ、獎勵ヲ致シテ
居ルト云フヤウナコトデアリマス、是
ハ直接農政局デ取扱ツテ居リマスノ
デ、私承知致シテ居リマスノハ、其ノ
程度デゴザイマス

○加藤知事委員 私一點伺ヒタイコト
ガアルノデスガ、第一ニ山林局長ニ御
伺ヒ致シタイ、煤炭ヲ獎勵スルコト
ニ付キマシテハ、結局資材ノ問題デア
リマス、ソコデ未利用原野ハ勿論デア
リマスガ、國有林野ノ雜木雜草マデモ
利用サセテ實ヘレバ十分煤炭ヲ獎勵ス
ルコトガ出來ルト思ヒマス、是ハ非常
ニ拂下ゲノ出來ルヤウナコトエ御願ヒヨ
クナモノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ如
何ニシテ見タイ

○黑河内政府委員 御答ヘ致シマス、
大體國有林ノ雜木雜草非常ニ里ヘ近イ
所ハ地元用ニ供與スルコトニナツテ居
ル譯デアリマス、或ハ地元ノ町
村ガ煤炭ヲ造ルト云フコトデアリマス
レバ、殆ド大部分ノ所ハ自由ニ取レル
ト云フヤウニ、尤モ區域ヲ限ツテハ
居リマスケレドモ、自由ニ取レルヤウ
ニ大體ナツテ居ル管ダト思ヒマス、尙
ホ此ノ點ニ付テハ本年ダツタト思ヒマ

スガ、各地ノ管林署ニ對シテモ自給肥
料ノ爲ニ必要ナルモノハ無制限ニ供與
スルヤウニ便宜ヲ圖レト云フ通牒ヲ發
シテ居リマスノデ、其ノ點ニ見テモ申
込マレ、バ必ズ拂下ゲルコトガ出來
ル、斯ウ思ツテ居リマス

○川崎委員長 ソレデ大體終リマス
ガ、尙ホ今山林局長ト加藤君トノ問答
ガアリマシタノデ、此ノ際總務局長ニ
一言確メテ置キタイノデスガ、昨日ハ
加藤君及ビ安孫子君、今日ハ山田君ヨ
リ自給肥料ノ煤炭綠肥等ニ付テ熱心ニ
御述ベニナリマシタシ、其ノ外ニ色々
アルコトデアリマス、ソコデ農
林大臣ハ本會議ノ席上デモ色々考ヘテ
居ルト十把一カラゲニ言ツテ居ル、大
臣ノ立場トシテハ其ノ通りデセウガ、
之ヲ利用シテ増産ノ實ヲ擧ゲル、ドウ
モ此ノ儘デハシヨウガナ、今年時付
ケタ麥ハドウスルカヲ皆心配シテ居ル
ノデアリマスカラ、ソレヲ大體論デナ
クテ、モウ少シ實際的ニシテ、行政機
構ノ中ニ組入レテ實際ニ運用スル方法
及ビソレニ對スル入費等ヲ正當ナ方法
ニ於テ支出シテ、有效ニ使ツテ大小麥
ヲ初メ、其他ノ増産ノ實ヲ擧ゲテ實
タイト云フノガ、ドナモ希望デア
ルト思ヒマスガ、ソレニ對スル御所見ハ
如何デアリマスカ

○精見政府委員 増産ノ問題ニ關聯シ
マシテ、肥料ガ一番大事ナコトハ申上
ゲルマデモナイコトデアリマス、隨テ
化學肥料ト同時ニ自給肥料ニ付テハ、
我々ト致シマシテモ最モ此ノ點ニ關
心ヲ拂ヒ、切實ニ其ノ増産ヲ期シテ居
ルノデアリマス、御存知ノヤウニ、現
在自給肥料關係ノ方ハ畜產關係モ併セ
マシテ、約一億一千萬圓餘ノ經費ヲ出
シテ居ルノデアリマス、尤モ此ノ一億

一千萬圓餘ノ巨額ノ經費ヲ使ヒマシテ、是ガ的確ナ效果ヲ擧ゲ、一億萬圓ノ金ガ二億圓ニモ三億圓ニモ效果ガ單ルヤウニ狙フノガ、最モ適切ナ行政措置ト考ヘルノデアリマス、ソコデ行政面ニ於キマシテハ、直接撥當致シテ居リマスノハ農政局デアリマスガ、更ニ畜産方面デハ畜産局、ソレカラ落葉等ノ利用ニ付キマシテハ特ニ林業試験場アタリモ非常ナ努力ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、結局是等ノ各局、各場署ニ跨ツテ居リマスル行政ノ效果ヲ綜合的ニ更ニ能ク效果アラシメマスルノハ大臣、次官ノ任務デアリ、又其ノ輔佐ニ當ツテ居リマス總務局ノ任務デアラネバナラヌノデ、隨テ此ノ委員會或ハ本會ニ於キマシテ御述ベニナリマシタ御趣旨ニ付キマシテハ、特ニ全ク同感ノ意ヲ表シマスシ、結局我々ノ今マデノ努力ニ對シマシテ、更ニ一層ノ努力ヲセネバナラヌト痛感シテ居ルヤウナ次第デアリマス、御論議ノゴザイマシタ點ニ付キマシテハ、十分尊重致シマシテ、又其ノ方向ニ努力ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○別所委員 議事進行ニ付テ……先程來色々々御意見ガアリマシタガ、委員長ハ質問打切りノ御勸誘ヲナサレタヤウデアリマスカラ、ドウゾ其ノ趣旨ニ於テ進メタイト思ヒマス、皆サンモ其ノ御意見ダト思ヒマス

○加藤(知)委員 私本會議ニ於キマシテ、大臣ニ對シテ補充食トシテ米糠ト云フモノヲドウシテモ食糧ニ供スルヤウニシナケレバイヤ、ソレニハ米ハ四分搗位ニシテ之ヲ出サセルヤウニシテ、糠ヲ補充食ニ用ヒサセルト云フコトヲ言ツテ居ルノデスガ、御考ヘノアル所ヲ參考ノ爲ニ伺ツテ置キタイ、玄

米食ハ現在ドウ云フ風ニヤツテ居ラレルカ、又米ヲ搗ク標準等ニ付テ、ドノヤウニ考ヘテ居ラレルカ、ソレ等ノ點ヲハツキリト伺ツテ置キタイ
○補見政府委員 玄米食ノ問題ニ付キマシテハ、御承知ノヤウナ色々ナ經過ヲ經テ參ツタノデアリマスルシ、更ニ是ハ技術的ノ問題ト致シマシテ、配給量ガ御承知ノヤウニ現在重杜デ致シテ居リマスノデ、白米ニ致シタ場合ノ配給量ノ問題、斯ウ云フヤウナ點デ極メテ「デリケート」ナ問題ガアリマスノデ、私只今此處デ御尋ネノ點ニ付テ、明確ナル御答辭ヲ致シ難イノヲ洵ニ遺憾ニ思フノデアリマス、併シ其ノ點ニ付テハ篤ト我々今後ノ問題トシテ研究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、尙水糠ノ食糧化ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ他ノ未利用資源モ漁ツテ居ルヤウナ情勢デアリマスカラ、勿論此ノ糠ノ食用化ト云フコトニ付テハ、當然我々モ頭ノ中ニ入レテ居ル次第デアリマス

○川崎委員長 ソレデハ明日十時カラ開會スルコトニシマシテ、本日ハ此ノ程度デ散會致シマス
午後四時五分散會